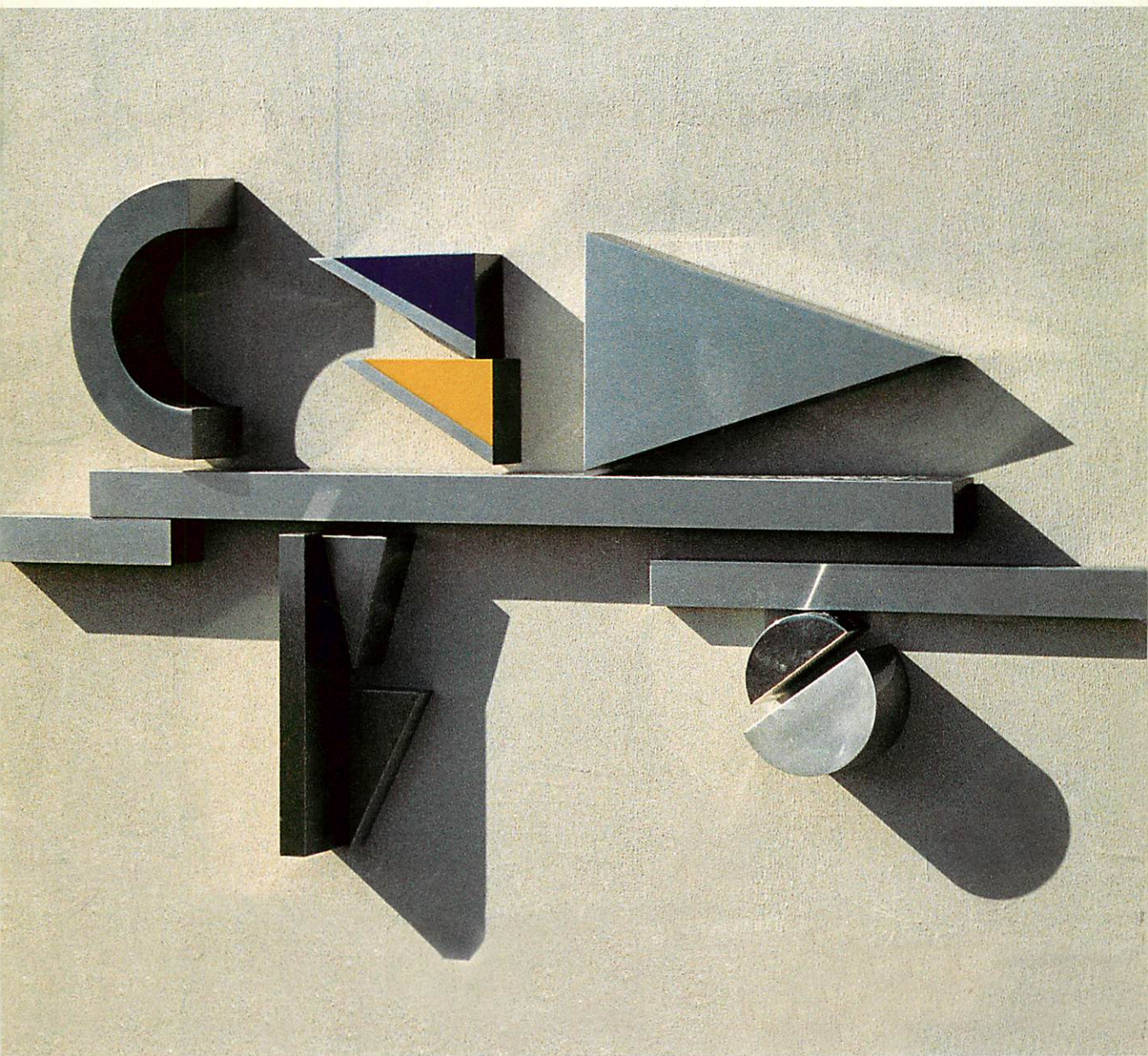


美術年報

2003



徳島県美術家協会

目 次

はじめに	徳島県美術家協会長 佐野 比呂志	1	
徳島県美術家協会規約		3	
平成13年度事業報告		4	
役員名簿(平成14年度)		7	
徳島県美術展開催運営要項		13	
第57回県展記録		17	
第57回県美術展出品・入選等状況		25	
徳島県美術展審査員一覧		26	
第11回放美展記録		30	
各部記録(平成14年度)			
・日本画部	部会長 西野 和男	36	
・洋画部	部会長 榊田 務	39	
・写真部	部会長 櫛渕 魏	48	
・彫刻部	部会長 松永 勉	53	
・美術工芸部	部会長 山上 馨	56	
・書道部	部会長 上田 溪水	60	
・デザイン部	部会長 坂本三千一	65	
会員名簿			
・日本画部	73	・美術工芸部	82
・洋画部	74	・書道部	84
・写真部	78	・デザイン部	95
・彫刻部	82		
第57回徳島県美術展(県展)公募規定			97
第57回県美術展特別・招待・無鑑査・賛助出品者名			98

あとがき

はじめに

第11回放美展が春の県公募展として、5月2日（木）から6日（月）までの5日間、県郷土文化会館で開催された。放美賞7点、優秀賞49点と入選514点の計570点と、審査員、運営委員、無鑑査、県美協役員の作品等65点を加え、総数635点が展示された。応募点数、応募人数も過去最高となり、県民の期待と関心の大きさは、県美術界にとっても大変よろこばしいことであり、将来更に飛躍することを願いたい。

第57回県美術展は、第1期が11月9日（土）から17日（日）まで、日本画、洋画、写真、彫刻、美術工芸、デザインの6部門、第2期が11月19日（火）から24日（日）まで、書道部門で県郷土文化会館において開催された。本年特筆すべきことは、書道部門で長年懸案とされていた篆刻が新しく加わるようになった。書道部のためにも大変よろこばしいことである。作品の応募数は例年なみの2,412点、審査の結果入賞入選800点が決まった。県展も57回を重ねその内容も年々充実、特に高校生大学生の若い層の活躍が目立ってきた。各部門の審査員からも、表現方法やモチーフがバラエティーにとんでいる点、若い人ならではの創造力が楽しい点などが称賛された。県内作家の方も充分自信をもって、個性的で創造性豊かな作品に向かって精進していきたいものである。いつも書くことだが、出品者の方々が多くの中展以上に厳選である県展に臆することなく、挑戦しつづける情熱と真摯な努力には心から深い感謝と敬意を表したい。

各部門の活動や関係団体、協会の精進も例年に劣らず活発であった。特に恒例の徳島彫刻集団の40周年記念の野外展は9月22日から11月22日まで徳島中央公園で開かれ、坂東文夫代表、24人の会員の集大成とも言えるものであった。初出品の女性作家や、兵庫県、香川県、高知県から8名の賛助出品を含め、30名の作家がさわやかな初秋の公園を彩ることになった。

個人では、1月に荒井賢治さんの写真展「風そよぐ一平家・徳島落人伝説」が徳島駅前のそごうデパートで開かれた。平家の伝承にまつわる史跡や風景などを大きくひき伸ばした写真で見せ、見る人を秘境へ誘う、そんな世界が展開されて77点の大作は圧巻であった。写真集も発刊された。洋画部の木下和江作品展が、ヨンドンプラザ池田で開催され、道化と鳩のシリーズが観客の目を引いた。3月には長尾弘久小品展が鳴門市のギャラリーカフェ無垢里で開かれた。長尾さんは洋画部委員で最近では版画作品に優れたものを見せている。デザイン部委員の敷島のり子グラフィックデザイン展が貞光町道の駅で開かれ観覧者を楽しませた。4月には天野節「油絵小品展一徳島水の風情」が眉山会館で開かれた。91歳で30年ぶりの個展で、創作意欲盛んなところを見せた。天野さんは元洋画部委員で、今後も益々健康で描き続けてほしいものである。昨年に続いて、飯原一夫絵画展「徳島慕情・橋のある風景」が徳島城博物館主催で開かれた。展示作品28点を収めた画文集千部と12点を絵葉書にして三千部を出版された。5月には県展創設に尽力された故長井公雄さんの遺作展が阿波銀プラザで開かれた。長年暮らした大阪・中之島などの風景画を中心に、亡くなる直前までエネルギーに制作した油絵と水彩画70点が展示され、純粹で温厚な人柄そのままの作品が見られ、長井さんを偲ぶのにふさわしい作品展であった。三

好初子「藍の詩」洋画展が郷土文化会館で盛大に開催された。東光会初入選から今日までの30点余の大作を軸に、小品や挿絵の原画などの作品も展示し回顧展ともなった。近作は特に阿波踊りの群像など秀作が多く、愛好家の心を強くとらえる個展であった。6月には県内書道教育の第一人者で一昨年亡くなられた故田中双鶴さんの大規模な遺作展が県郷土文化会館で開かれた。漢字を中心に仮名、調和体まで、生涯追い求め続けた流麗で叙情的な作品百点が展示された。晩年に至っても衰えることなく、更に鋭さを増した双鶴さんの風格にじむ書業をしのぶにふさわしい遺作展であった。なお、展示作品百点を収録した遺作集も同時に刊行された。洋画の下時治郎秀臣さんが、初めての個展「愛しき自然」がそごうデパート美術画廊で開かれた。下さんは日展にも入選している白日会員で、何でもない風景から美をすくいあげたいという滋味あふれる作風、ますますの発展を続けてほしい。8月には平木美鶴新作版画展が、眉峰ギャラリーで12の暦よりのタイトルで開催され、楽しい版画展であった。9月には彫刻家の河崎良行デザイン展が、ギャラリーカフェ、グレイスで開かれた。流麗でありながら力強い線の流れは、やはり河崎彫刻の世界に重なる姿勢を見ることができ面白く鑑賞した。10月には徳島彫刻集団代表の坂東文夫さんが個展を開催した。現在坂東さんは県美術家協会には席をおいていないが、半世紀にわたって徳島の彫刻文化を育てる一方、徳島の風土に根を下ろした作品を作り続けてきた功績は偉大なことにおいて、あえてここに記すこととする。坂東さんは1934年現在の東京芸大に入学。当時、県では彫刻を学ぶということは考えもできなかったという。佐藤忠良、船越保武らとともに学び、現在の日展で入選を重ねたが、東京大空襲にあい1945年帰郷、以来徳島の芸術家となった。徳島大学に勤務、教え子らと彫刻集団を結成し、昨年秋には40周年記念野外展を開いた。個展では阿波踊り像、モラエス像を軸に、小品等合わせて40点が展示された。会期中には友人のお鯉さんの「よしこの」と阿波踊り像の共演もあり、印象の大きな個展となった。美術文化の乾繁春展が川島町立図書館で、図書館美術シリーズ第13回として開催された。最近描き続けている俯瞰遊泳の大作は迫力ある展示作品となり、特に郡部の愛好家にとってはよい勉強にもなったと思われる。11月には日本画の岩瀬洋子画展が阿波銀プラザで開かれた。第37回日春展の作品も出品され、21点の大作力作の数々に愛好家は充分満足したと思う。

県外の公募展受賞関係等では、写真部の森住博さんが二科展写真部門で第2席の大竹省二賞を受賞した。作品は「沐浴」で、インドガンジス川のほとりで沐浴する女性の上半身を収めたものであった。徳島彫刻集団の松永勉さんが韓国での日韓交流展に「風景の再生」を出品し注目を集めた。木田英之さんが二冊目の写真集「寂光」を出版した。二年前の「黒白のメッセージ」はモノクロ写真集だったのに対し、今回は一転して、現在のさまざまな風景を鮮やかなカラーで収められたのが特色であった。

最後になったが、四国放送（放美展）、徳島新聞社（県美術展）並びに美術家協会の皆様方に心から感謝するとともに、ますますのご発展をお祈りしてはじめることとする。

平成 15 年 3 月

徳島県美術家協会会長

佐 野 比呂志

徳島県美術家協会規約

昭和23.	9.	12	規約制定
32.	7.	14	新規約制定
33.	4.	29	規約一部改正
42.	4.	23	〃
46.	4.	29	〃
47.	5.	29	〃
49.	8.	22	〃
52.	7.	23	〃
56.	5.	5	〃
58.	6.	5	〃
61.	6.	21	〃
平成4.	6.	27	〃
6.	6.	25	〃
10.	6.	27	〃

第1章 総 則

第1条 本会は徳島県美術家協会と称し、事務所を徳島市内におく。

第2条 本会は県内美術家の連絡を緊密にし県美術の育成発展をはかり美術を通じて県文化の向上につとめることを目的とする。

第3条 本会は徳島県に関係のある美術家をもって組織する。会員は次のいずれかの部に属する。

- ①日本画 ②洋画 ③写真 ④彫刻
⑤美術工芸 ⑥書道 ⑦デザイン

第4条 本会は目的を達成するために次の事業を行う。

- (イ)展覧会 (ロ)講習会 (ハ)講演会
(ニ)観光美術の振興 (ホ)その他必要な事業

第2章 役員および会員

第5条 本会に次の役員をおく。

会 長 副会長（2名）
理 事（若干名） 監 事（2名）

会長、副会長、監事は総会で選出する。理事は各部会から5名以内推せんする。役員任期は2年として留任をさまたげない。

第6条 本会は顧問、参与および名誉会員を理事会の推せんによりおくことができる。

第7条 会長は会務を総理する。副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代行する。監事はこの会の経理を監査する。

第8条 総会は毎年1回以上会長の招集により開き会計会務の報告、役員選出、規約の改廃、その他重要事項の審議を行う。

総会は各部から選出した代議員によって構成し、出席代議員の過半数をもって議決する。代議員は30名以内の会員の部にあつては3名、

31名以上の部にあつては、さらに10名毎に1名選出できる。

第9条 理事会は必要に応じ会長が招集し総会の決議による会務および緊急事項を執行する。

第3章 部 会

第10条 各部に次の役員をおく。

部会長・委員（部会員数の3割以内）
部監事（2名）

役員は部総会で選出する。役員任期は2年とし留任をさまたげない。

第11条 部総会は毎年1回以上部会長の招集により開き、会計会務の報告、役員選出その他重要事項の審議を行う。

ただし、部の事情により、部委員会をもって総会にかえることができるものとする。

第12条 委員会は必要に応じ部会長が招集し部会務を執行する。

第13条 部会の決定事項中、各種事業を協会の名において行うときは、理事会の承認を必要とする。

第14条 各部の経費は部会1人当たり、1,750円とし、その他事業収益、寄付金をもってあてる。

第4章 経 費

第15条 本会の経費は会費、入会金、事業収益、寄付金その他をもってあてる。

第16条 会費は年額3,500円とし、入会金は1,000円とする。

第17条 会計年度は毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

(参 考)

☆昭和23年9月12日 設立総会及び発会式を徳島市役所3階議事場で行う。事務所を徳島新聞社内に置く。

☆昭和24年5月3日 事務所を憲法記念館（徳島公園内の県立図書館）内へ移す。

☆昭和25年12月18日 協会バッチを選定（凶案は鬼塚副会長）

☆昭和33年4月29日 今迄常任委員で運営していた協会の組織を部制を設けて、各部会長及び各部委員を選出する。協会運営は各部から選出された理事（3名～5名）によることとする。

☆昭和46年4月29日 6部（日本画・洋画・写真・彫刻・美術工芸・書道）のうえに商業美術（58年度からデザインに改称）が加わり7部組織となる。

平成13年度 事業報告

- (1) 総 会
 - 平成13年6月16日
 - 県郷土文化会館 5F 第7会議室
 - 平成13年度事業報告及び決算報告
 - 監査報告・承認
 - 役員改選
 - 平成14年度事業計画及び予算審議
 - その他
- (2) 理 事 会
 - 平成14年3月23日 放美展、県展等について
- (3) 第10回放美展
 - 平成13年5月2日(水)～5月6日(日)
 - 日本画・洋画・写真・彫刻・美術工芸・書道・デザインの
625点展示
 - 受賞者表彰式
平成13年5月6日(日) サンシャイン徳島アネックス
- (4) 第56回県美術展
 - 第1期 平成13年11月8日(木)～15日(木)
写真・書道の567点展示
 - 第2期 平成13年11月17日(土)～25日(日)
日本画・洋画・彫刻・美術工芸・デザインの371点展示
 - 第56回展受賞者表彰式 平成13年11月7日(水) 徳島プリンスホテル
- (5) 県展・放美展会議
 - 第56回県展運営委員会・県展事務局員会議
(13. 5. 30、13. 9. 17、14. 2. 20)
 - 第10回放美展運営委員会 (13. 4. 27)
 - 第11回放美展運営委員会 (13. 12. 18)
- (6) 各部会行事
 - 洋 画 部
第16回洋画部会員展 (13. 5. 24～27) 県郷土文化会館
第3回絵画講習会 (13. 9. 9) 鴨島町文化研修センター
 - 写 真 部
京都嵯峨野方面写真撮影会 (13. 6. 24)

- (7) 各種後援
- 第2回 ニッコールクラブ徳島支部写真展 (13. 4. 13～15)
 - 第21回 書研社展 (13. 4. 13～15)
 - 上杉大一写真展 (小豆島風物詩) (13. 4. 27～29)
 - 第16回 正鋒会書展 (13. 4. 28～30)
 - 久保幽香遺作展 (13. 5. 10～14)
 - 第24回 全美展 (13. 5. 17～20)
 - 第15回 教員展～四国大学文学部書道文化学科設立記念 (13. 5. 18～20)
 - 第13回 ‘燎’ 4人展 (13. 5. 24～28)
 - 第8回 大耽会書作展 (13. 5. 25～27)
 - 第24回 八紅展 (13. 5. 31～6. 3)
 - 第24回「炎」作品展 (13. 6. 1～3)
 - 第19回 双愛会書作展 (13. 6. 15～17)
 - 第22回 東光会徳島支部展 (13. 6. 22～24)
 - 第10回 一書展 (笹尾芳石先生追悼書展) (13. 6. 30～7. 2)
 - 第20回記念 徳島平和美術展 (13. 7. 6～9)
 - 後藤田仁一自選展 (13. 7. 19～23)
 - 第60回 世代美術展 (13. 7. 26～29)
 - 長野ミッコ油彩画展 (13. 7. 26～30)
 - 第6回 墨友会書展 (13. 8. 10～12)
 - 第46回 成蹊書道会展 (13. 8. 24～26)
 - 第25回 14人展 (13. 8. 24～26)
 - 上田溪水書作展 (13. 8. 31～9. 3)
 - 第24回 泉心会書作展 (13. 9. 6～9)
 - 第30回 徳島雪心会書作展 (13. 9. 7～9)
 - 第31回 直心会書展 (13. 9. 7～9)
 - 第36回 書道研究 清潮書作展 (13. 9. 21～24)
 - 第33回 石井美術の会作品展 (13. 9. 21～24)
 - 第57回 青美展 (13. 9. 21～24)
 - 第41回 写楽会写真展 (13. 9. 28～30)
 - 第46回 書協人展 (13. 9. 28～30)
 - 第7回 徳島障害者芸術祭 エナジー2001 (13. 10. 2～7)
 - 第10回 砂光篆会書作展 (13. 10. 6～8)
 - 鋭光会写真展 (13. 10. 19～22)

- 第5回 旺美展：旺玄会東四国支部展 (13. 10. 25～31)
- 第64回 書芸院展（ことわざを書く） (13. 10. 25～28)
- 第16回 藍美展 (13. 11. 1～4)
- 第12回 辰砂の会展 (13. 11. 3～5)
- 第6回 三美展 (13. 11. 3～11)
- 尾崎素子洋画展 (13. 11. 9～11)
- 第3回 書朋六人展 (13. 11. 9～11)
- 第13回 睦月会書展 (13. 11. 21～23)
- 第23回 徳島美術学院展 (13. 11. 22～25)
- 第6回 尚真書展（遊） (13. 12. 7～9)
- 第30回 歳末チャリティ作品・色紙即売展 (13. 12. 8～10)
- 第31回 四国大学書道コース学外展 (13. 12. 14～16)
- 第7回 六書展 (14. 1. 8～10)
- 第7回 退教協 悠美展 (14. 1. 25～27)
- 第33回 ナルトぴんぼけクラブ写真展 (14. 2. 9～11)
- 第5回 美術文化協会徳島グループ展 (14. 2. 15～19)
- 「コトバとデザイン」展 (14. 2. 20～24)
- 第22回 書研社展 (14. 2. 22～24)
- 四国大学文学部書道コース第27期生卒業制作展 (14. 2. 22～24)
- 第1回 輪の会作品展 (14. 3. 7～10)
- 第28回 桂鳴書展 (14. 3. 8～10)
- 第4回 徳島現代墨絵展 (14. 3. 8～10)
- 第15回記念 長玄書道会展 (14. 3. 29～31)

徳島県美術展開催運営要項

第1条 (名称・開催目的)

本展は徳島県美術展「以下(県展)という」と称し、広く県民から個性と創造性豊かな美術作品を公募し、審査員による公開審査により優秀な作品を選び、展示表彰することにより県内美術愛好家の制作意欲の活性化をはかり、一方県民に郷土の優れた美術鑑賞の機会を提供することにより本県の芸術文化の発展振興に寄与することを目的とする。

第2条 (主催団体)

県展は徳島県美術家協会と徳島新聞社の共催により開催する。

第3条 (開催運営の組織)

県展を開催運営するため、基本事項を審査決定する「県展運営委員会」と、主として準備計画を進める「県展事務局」とを設置する。

運営委員、事務局員の任期は2年とする。但し再任は妨げない。

〔県展運営委員会〕

運営委員会のメンバーは、県美術家協会の会長・副会長2名及び各部会から2名、徳島県から1名、徳島新聞社から3名の合計21名でこれを構成する。

運営委員の中から運営委員長1名、運営副委員長2名を選任する。運営委員長は運営委員会を統括し次の業務を行う。

- 1 開催運営の基本事項について審議決定すること。
- 2 審査員候補を推薦決定に関すること。
- 3 審査方法、表彰に関すること。
- 4 収支予算、決算の承認に関すること。
- 5 その他県展開催に必要なこと。

〔県展事務局〕

事務局を徳島市中徳島町2丁目5番地の徳島新聞社事業部内に置く。

事務局のメンバーは、県美術家協会各部から2名、県美術家協会事務局1名、徳島新聞社2名の計17名でこれを構成する。

事務局員の中から事務局長1名を選任し、次の業務を行う。

- 1 出品規定、応募要項、入場券、ポスター、チラシ、図録等の印刷、受付、配布、販売等に関すること。
- 2 会場、会期、審査、搬入、搬出、運営全般の下準備に関すること。
- 3 審査員の下交渉、配宿、航空券の手配、審査日時、場所、接遇等の準備、手配に関すること。
- 4 収支予算案の作成に関すること。
- 5 開会式、表彰式の準備に関すること。

- 6 広報PRに関すること。
- 7 その他県展開催の下準備に関すること。

第4条 (出品部門)

県展の出品部門は日本画、洋画、写真、彫刻、美術工芸、書道、デザインの7部門とする。

第5条 (展示作品)

県展において展示する作品は、前条に掲げる7部門の中から次の作品とする。

- 1 一般公募作品の中から主催者が委嘱する審査員の審査を経て入選した作品及び招待、無鑑査、特別出品の作品を展示する。
その他の作品については運営委員会の議を経て展示する。
- 2 招待、無鑑査、特別出品については次の規定による。

◇次のものを招待とする。

- (1) 無鑑査出品を3回以上得たもの。

◇次のものを無鑑査とする。

- (1) 特選を連続3回得たもの。
- (2) 年間を問わず特選を4回得たもの。
- (3) 年間を問わず特選又は準特選を6回得たもの。(特選1回準特選5回、特選2回準特選4回、特選3回準特選3回、準特選6回の場合とする)
- (4) 無鑑査出品者にして、特選または準特選を得たもの。

◇次のものを特別出品とする。

- (1) 県美術家協会の会長、副会長、顧問、名誉会員、参与、審査員及び各部の会長、顧問、参与。

- (注) ① 招待及び無鑑査出品者が出品しない場合は、運営委員会で認められた事由がない限りその資格を失うものとする。
- ② 17回展までの奨励賞は準特選と同値とする。
 - ③ 40回展までの準特選は2回をもって特選と同値とする。

第6条 (審査員)

審査員は県外審査員とする。

審査員の選任は県美術家協会の各部会から一定数の人数を推薦し、この中から事務局で選任作業を行い県展運営委員会の議を経て決定する。

第7条 (審査)

審査は公開により行う。

第8条 (入選、入賞数)

- 1 入選、入賞数は作品の出品数の増減により多少変動する場合があるが、原則として次の範囲内に止める。

部門	区分	特選	特別賞 (57回展の場合)	準特選	奨励賞	入選
日本画		2	四国放送社長賞	3	3以内	規定数
洋画		3	徳島県美術家協会会長賞	5	5 "	"
写真		4	徳島県知事賞	8	8 "	"
彫刻		1	徳島県議会議長賞	2	2 "	"
美術工芸		2	徳島県教育長賞	3	3 "	"
書道		8	徳島市長賞	13	13 "	"
デザイン		2	徳島新聞社長賞	3	3 "	"

※特別賞は各部とも特選の中から最優秀作品1点に対し贈られるものです。
賞はいずれも同格で毎年部門により1つずつ順位を変更し賞を贈ります。
2 入賞は1人1賞とする。

第9条 (表彰)

県展の入選、入賞者を次の通り表彰する。

- 1 特選……賞状、賞金7万円
- 2 準特選……賞状、賞金3万円
- 3 奨励賞……賞状、記念品
- 4 入選……全員に賞状

なお、特選に入賞した作品の中から特に優れた作品について次の特別賞を贈る。

- 1 徳島県知事賞 1名
- 2 徳島県議会議長賞 1名
- 3 徳島県教育長賞 1名
- 4 徳島市長賞 1名
- 5 徳島新聞社長賞 1名
- 6 四国放送社長賞 1名
- 7 徳島県美術家協会会長賞 1名

※特別賞の選考方法については別にこれを定める。

第10条 (収支予算)

県展の開催、運営に要する経費は次のものをあてる。

- 1 出品料
- 2 入場料
- 3 図録売り上げ及び広告料
- 4 各種補助金
- 5 その他

県展の支出経費は事務局長の承認を経て行き必ず証票をとり、毎年12月末に決算を行い、2月に開催する運営委員会に報告し承認を得るものとする。

第11条 (出品料・協賛費)

県展の出品料及び協賛費は次の通りとする。

- 1 県美術家協会員の出品料は1点目3,000円、2点目から1点につき1,500円とする。
- 2 一般の方の出品料は、1点目4,000円、2点目から1点につき1,500円とする。
- 3 招待、無鑑査、特別出品者及びその他審査を受けない者の協賛費は、1点3,000円とする。

第12条 (入場料)

県展の入場料は次の通りとする。

- | | | | | | |
|---|-------|-----|------|----|------|
| 1 | 一般大学生 | 前売り | 500円 | 当日 | 600円 |
| 2 | 高校生 | 前売り | 250円 | 当日 | 300円 |

第13条 (附 則)

本要項の規定は昭和61年9月から実施する。

本要項の改訂、修正は県展運営委員の3分の2以上の議決を経てこれを行うものとする。

- | | |
|------------|------|
| 平成4年2月22日 | 一部改正 |
| 平成4年5月16日 | 一部改正 |
| 平成8年5月25日 | 一部改正 |
| 平成11年5月14日 | 一部改正 |
| 平成12年5月30日 | 一部改正 |
| 平成13年5月30日 | 一部改正 |
| 平成14年9月25日 | 一部改正 |

第57回県展記録

会期 (第1期) 平成14年11月9日(土)~17日(日)
 (第2期) 平成14年11月19日(火)~24日(日)
 会場 県郷土文化会館

日本画

- 〔審査員〕 岩本 和夫
 〔招待〕 長尾 弘子 橋本 正弘 中川 健 岡 英彦 土方るみ子
 西野 和男 土井 洋子
 〔賛助出品〕 森 薫苑 長谷 寿
 〔特選〕 柳田 一子 (四国放送社長賞)
 中西 芳雄
 〔準特選〕 反田 卓 江本美千代 坂 容子
 〔奨励賞〕 森崎 雅子 島山 耀子
 〔入選〕 坂本 久江 南 清子 白河 邦子 大久保芳和 佐々木文子
 梶浦 千瑞 米沢 稔 橋本 隆雄 井内カヨ子 井藤 茂雄
 有井 由佳 吉田 満子 福田佳代子 有持 廣子 近藤佐由里
 阿部沙奈恵 岸本 好美 富田 達子 岩崎理依子 吉岡 育美
 斎藤 久男 原 千紗 吉坂美智子 大磯美帆子 斎藤 久代
 藤井 吉信 石原 千鶴 細木 玲子 坂東 絵里 嘉見 貞子
 井村ひろみ

洋画

- 〔審査員〕 山本 貞
 〔特別出品〕 佐野比呂志 永山 隆二 榊田 務
 〔招待〕 清水 亟悞 楠瀬 等 立岩 巖 露口 敏幸 岡本 征二
 長尾 弘久
 〔賛助出品〕 浅田 二郎 岡 多美子 柏木 雅雄 河田 安市 黒崎 志郎
 後藤田仁一 松川 寛 岡田 守 中辻奈美枝
 〔特選〕 新居 千尋 (県美術家協会会長賞)
 越久 高照 吉岡 英樹
 〔準特選〕 西條 明彦 伊勢 浩章 藪原 幸子 岡田 和泰 南城ミツ子
 〔奨励賞〕 玉田 秀子 大西 道夫 中村 恵一 堀江 幸子 藤嶋 敬子
 〔入選〕 真鍋 和子 鈴木 明雄 阿部 昌子 前野 亮治 笹田 興一
 麻植 哲司 島村 英之 川田 績 福良 哲子 川上 晴美

大平 数子	片山 富市	野上 恵子	佐藤 嘉子	宮本 俊助
松田 美香	東 紀美子	岩佐 千代	佐々木 超	藤本 晴子
西崎 志帆	林 伸也	藤井 香世	武田 洋子	中川 清隆
藤川佐由美	国見シゲミ	西川 敬子	青木 幸子	秦 克之
木下 和江	吉田 典代	北 美智子	曾我部秀子	平田スミコ
三谷ミヤ子	河野シゲ子	藤埜 理	三谷多美子	山瀬 稔
馬淵 博子	村本恵美子	小川 雅代	西川 周三	加賀谷愛美
田中 康子	三好 初子	宮田 京子	姫田 正義	加川由紀子
田淵 浜子	近藤 克子	関 美喜子	森 幸子	三木 洋子
佐々木輝実	日出美佐江	田中シゲミ	山口 明美	坂本 洋子
富岡 晴恵	米沢 博	佐々木洋輔	井上 淳一	折目 久美
尾田 稔子	大崎 聡美	浅山 久子	吉田 実	合田由美子
須見 澄子	岸本 花子	西條 敏夫	林 康太郎	中本真由美
林 敏雄	伊原 妙子	鈴木 敬子	平松 智子	阿部沙由里
野村 雅子	答島 久子	若山 一恵	大西 文代	後藤ユリ子
木下 務	天野 功治	島田 英子	二條 均	知野 貴世
結城 栄子	坂本 和生			

写 真

- 〔審査員〕 細江 英公
- 〔招待〕 増田 清次 井上 光雄 西條 征二 勝西 雅夫 藤井 梵
 武内 亨 笹田 敏雄 櫛淵 魏 酒井 博司 三好 和義
 上野 照文 森 賢一 橋本 圭祐 安長 剛 前浦 芳久
 荒井 賢治 林 敏彦 多田 晴美 古井 謙吉 中野 建吉
 井藤 光章 増田 壽
- 〔無鑑査〕 柳本 正
- 〔特選〕 森住 博 (県知事賞)
- 松田みゆき 岩崎 英昭 竹原 章子
- 〔準特選〕 西野 倫子 森内 昭男 船越 正文 久保 英樹 坂東 裕子
 宮本 幸治 柳谷 雅夫 赤木 昭子
- 〔奨励賞〕 近藤 恵子 高橋 弘 臣守 澄江 内田 澄子 武林 恭史
 公門 久明 志摩 育美 竹本 正
- 〔入選〕 川上たかと 野藤 敏美 野藤みきよ 高橋 雪雄 大津 勝治
 谷 賢太郎 新居 修 坂野 正明 林 好一 清水 宗保
 溝淵 寛治 島 廣幸 浜田佳津子 横山 勤一 富永 充

富永 幸子	松田 昇	鴻野 孝	戸出 匡	松尾 寛一
高木 伸幸	椎野 泰治	佐野 辰夫	佐野 俊二	竹岡 章
川口 進	大岸 昭	佐々木勝正	潮 満寿子	安部 幸子
奥野 持重	山橋 良治	新居 丈市	宇高 憲吾	田中 義孝
佐藤 考利	四宮 正恵	柳本 清一	河田 清	吉田 仁志
三木 啓治	阿部 一雄	棚橋 仁志	武田 淳子	辻 絹子
川西 明雄	四宮 清文	米塚 稔	渡邊 信二	山本 雅敏
下山 久男	竹内 好文	国見 良幸	辻 義徳	土橋 成行
板東 律雄	大和 健司	梅本 貞範	播 博文	向 儀一郎
前坂 祥文	佐々木敏幸	柳川 信子	佐野 和史	木村美紗子
石川 徹雄	秋野 昌子	田中喜久夫	米沢美千代	富加見美枝
岡村 清	後藤 正巳	矢部 弘子	多川 静守	中村 茂人
福原 和代	岸田 義市	村岡 洋一	大森 孝克	森山 利明
長尾 守	大栗 隆夫	神野 太三	阿部 啓三	吉本 亮子
井上 翔	小川 勝	元木 強	田村 一郎	上杉 大一
橋本 博美	木下 昇	内田 忠秋	粟田ふさえ	葉田 稔
中尾 一元	秋田 一元	山口 嘉市	根ヶ山 治	根ヶ山美江
堀口 幸男	佐藤 義雄	村沢 義清	椎野シゲ子	林 広司
松本 春子	矢野 志江	谷中美智子	吉田 弘	横田 正敏
渡部 功機	篠原 純代	浜田茄代子	守原 修	正見 晃章
武知 正昭	藤田 卓嗣	田中 伸廣	塩本 勝義	牧本 正
坂東 鶴雄	日出 顕作	板東よしお	大久保智仁	阿部 房恵
坂東 進	平岡 文恵	大西 啓子	中川 定典	森住 啓
多田 康文	稲垣 喜修	田村 泰弘	板東 敏晴	村雲 清郷
佐治 孝				

彫 刻

- 〔審査員〕 原 武典
- 〔特別出品〕 河崎 良行
- 〔招待〕 佐藤 隆 大津 文昭 井下 俊作 鎌田 邦宏 松永 勉
 蒔田 寿
- 〔贊助出品〕 長岡 強
- 〔特選〕 武田亜希子 (県議会議長賞)
- 〔準特選〕 笠井 正彦 木村 大志
- 〔奨励賞〕 戸田 智 川下 知子

〔入 選〕 椋本 幸男 居上 真人 二宮 治夫 清水久美子 藤井 哲信
 玉田 悦子 東 光司 東 安一 加藤美津子 井上 喜美
 上月 佳代 高梨 良子 工房W・S・H (別部・タカシ・橋本)

美術工芸

〔審査員〕 中井 貞次
 〔特別出品〕 山上 馨
 〔招待〕 新居 猛 高橋 勇 多智花佐代子 松下 雄介 松下 慶一
 森 賢一 橋 恵 犬伏 絢
 〔贊助出品〕 村上 正典 中川 存
 〔特 選〕 田村 純子 (県教育長賞)
 綾野 昌子
 〔準特選〕 四十年代年代 小栗加代子 吉田 敏明
 〔奨励賞〕 井後 宏 仁田 和子 杉本 真弓
 〔入 選〕 越 由子 藤井 雅代(2) 吉田 晃子 竹内寿和子 宮本 孝(2)
 野村 裕子 丸居 哲雄 森 克江 武田 美子 斎藤 和彦
 近藤 静恵 椎野 隆子 寒川 治雄 加藤 和美(2) 井上 明子
 橋本 正子 一宮多枝子 加藤 伴江 田村 恵子 阿部 徳子
 手塚 健一 阿部ひとみ 川真田 弘 阿部真由美 富田ちえ子
 松浦 豊子 山本 孝 手塚 小夜 家形笑美子 龍木 秀子
 大西 恵子 梶原 浩二 太田 進 河野知江美 宮本 薫
 横井嘉世恵 桜井 慎治 西山多恵子 平田志保子 平尾 静子
 垣内耕太郎 隅田 良佑 三宅 真弓 北岡 啓子 板東 宏行
 谷口 治 岡崎 益子 国井 秋子 藤井 哲信 奥谷麻里亜
 内田 大輔 山本 和子 阿部 俊江 前野 亮治(2) 中村ようこ
 森 明治 板東 啓子 山本 啓子 藤田 恭子 天野 和子
 田村栄一郎 吉田 陽子 山本 由実 永山昭一郎 宮本 真弓
 村川 栄一 鳥井 明子 吉田 真弓 森 裕紀 吉田 祐子

書 道

〔審査員〕 星 弘道 宮重 小蘭 西野 象山
 〔特別出品〕 荒井 天鶴 新居 藍州 讃岐 泰泉 上田 溪水
 〔招待〕 宮井 青雨 長原 皋聖 高原 清泉 西 南龍 成尾 荘秀
 渡辺 草石 原田 霄月 芝原 醒鶴 前川 古舟 清水 桂月

美馬幾美賀	春藤 大耿	中谷 史子	長谷 美峰	勝瀬 景流
川上 虹泉	三間 好鷺	近藤 静苑	日下 溪翠	岡島 順子
荒井 彭仙	竹田 和代	山口 華城	藤若 美風	武市 鳴雲
中尾 勝子	佐藤 真	富久 鳴泉	永松 春苑	島田 小園
坂本 霄風	浜 佳香	隅田 英二	松本 清香	多田 清芳
玉城 乾香	薄田 玲泉	能仁 華瑤	高岡 晃祥	高田 青蓮
三浦富美代				

〔無鑑査〕 宇山 泰鳳 山口 幽徑

〔贊助出品〕 東 南光

〔特選〕 近藤 美香 (徳島市長賞)

大下 富江	東川 真美	豊浦 佳子	山本 愛美	皆谷 露子
春川 登	長野 裕子			

〔準特選〕 福家 佳余 藤山真由里 戸出 浩子 大本由紀子 河野 静江
 向井 京子 加村喜美子 河野紀代子 丸田 三恵 吉田さい子

〔奨励賞〕 長原 七与 大津 明美 中川 富量
 中村 絢子 山城美三子 陶久 房枝 辻 紅雲 真鍋 一美
 森西美也子 祢木真佐子 宮守 とみ 森 裕美子 朝三 和子

小野 幸久 長野由美子 松本真理子

〔入選〕

漢字の部

野村千恵子	大塚 洋子	小倉 孝子	佐藤真由美	佐々 京子
鳩成 広美	藤村 恭子	米澤 司子	沖田 章代	藤岡千江子
宇山 和治	植村 恭子	藤川 幸栄	井内 裕子	米木由美子
山城テル子	鈴木エリ子	弘田 敏章	高原 智世	高畑 明美
宮脇 郷子	吉成啓一郎	吉田 有子	前田 麻子	秦 知美
笠原小夜子	横井三知代	若木 恭子	粟飯原優子	笠松八重子
浅川 陽子	黒田 美穂	奥田 文子	大野シゲ子	桑田 次雄
杉本 妙子	笠原 笑子	折野 茂幸	原 貞子	村部 幸子
中川恵美子	三崎美佐代	四宮 恭子	荒岡 直子	由宇 典代
忠津 安子	小林 忠志	勝浦 美和	江口 徹英	田中 育子
伊勢 浩美	永岡ツタエ	吉平 順子	宇山 峯子	村沢健太郎
谷本 洋子	高木 瑞枝	篠原ゆかり	松永 浩子	岡島 倍子
西野 道夫	牧野美弥子	稲田 恵子	稲田 紀子	藤澤 俊文
柴田 勝	三谷 展子	花木トヨコ	出口久美子	安藝 知代

鈴木 正友	飯田 公子	寺内 金子	寺内 絹恵	小西貴美子
森本真由美	野口 有香	谷本真由美	古川 恵巳	川村 真澄
中村 美子	石田 志歩	丸岡 由美	春川 登	岡島 由佳
八木 澄江	黒田 早苗	駒田 澄子	橋本 康喜	河野多美子
海原 進	林 みゆき	加藤 智子	河野久美子	福永久美子
橘 美希	稲木 裕美	高尾 泉	安原 照代	後藤 佳美
濱口 摩利	山地 靖子	市原 典子	片山 保	扶川 治子
真鍋 洋子				

篆刻の部

吉村 清志	伊月 優	岡部 武見	加藤 美紀	田中 昭二
福壽 昭二	安宅 義夫	横田津喜子	渡邊 久子	横田 雅夫
貝塚 鎮雄	矢本 貴子	中西 安代	住友 通瑛	胡桃 幸正
射場 博子				

仮名の部

西宇 明美	三宅 優子	鈴江美音子	湊 紀子	出口末喜子
中田須美子	武市 直子	豊原 淳子	増田 愛子	佐野チヨミ
濱川 美沙	阿部 博子	田村富士子	福本早矢賀	亀石 二三
宮地 妙子	大滝富美枝	加藤 光子	中野 幸代	藤井三樹子
伊丹 志織	藤井 昭子	藤本満里子	崎野亜希子	桃田 和子
田渕 美和	藤田 健二	川崎 景子	古川 智野	佐藤 千紘
高木美賀子	鳥庭 貴子	大平 英子	久積希実子	原田 葉子
大原 千佳	畠山 政子	田岡佐記子	新子 町子	草刈 明美
関根 史子	竹内 英子	井上 まり	上田 久恵	阿部 智代
高島 智子	脊川 章子	藤中 英子	松本由希子	風川 悦子
山本 美幸	椎野 国子	川口 珠枝	林 孝枝	武田 詩夜
根津不美子	船野 純子	甲谷 慶子	倉本 節子	赤川久美子
新納 房子	佐川 公子	森 弥生	宮崎 早苗	益田 昌子
遠藤 由子	竹中 敏恵	岡島 公子	楠瀬 恭子	三好 啓子
佐々木 肇	権田 明菜	松浦真知子	高木 瑞枝	梶 真理子
加藤かつ子	久住 律子	山本 恵子	西 直子	西岡 咲子
由利 里子	福島 由子	詫間 勝子	津田 上生	

近代詩文の部

橋本 君代	浜口 敏子	引地 美貴	平岡 郁子	福山 啓子
藤本 優子	丸岡 良子	森本知世子	森本 陽子	森岡 禎子
矢野 照代	山崎ひとみ	吉田佐知子	和田富美子	若林 節子
青木寿恵子	天野 豊	糸田川純子	犬伏 靖江	今山 静恵
岩本 雅三	遠藤玻都恵	遠藤 禎子	大井多鶴子	大石 正
大島 清子	大西 英子	大西千鶴子	岡川 泰江	川下小夜子
河野 富子	川人 和美	川又 敏香	木田 史子	岸 緑
栗山 弘子	桑村 清	幸田 康代	児玉 幸子	坂本 貴子
坂尾 俊一	榊原早知子	佐藤 恵子	里村 典子	佐原 武子
清水 三枝	新開ひとみ	瀬部 洋子	高瀬 善郎	高橋美知江
武田 淳子	武樋 清子	谷本 清子	玉城 若菜	出原とし子
富永美知子	長井 洋子	中村 葉子	仁木しもえ	野田 洋子
福田 道子	松岡 文子	宮本 光和	森浦 和子	山口 幸子
横山 定由	吉積 恵子	脇川千鶴子	相原 初江	石井 益美
稲飯 桂子	河野 敬子	川人 宏子	木内 典子	信夫 陽子
渋谷 清子	谷井 理恵	都築百合子	豊田 直美	野口 晴世
野田 満代	西勝 恵理	鳥井佐知子	児島 照代	川辺 光俊
竹川 秀穂				

前衛の部

林 浩一	伊丹 明美	永井 厚子	村田 泰輝	柏尾美恵子
大胡恵里香	伊藤 真美	今田真梨子	黒川 奈美	鈴木 輝実
平野 智子	北村 友紀	原 理恵	中野 朋子	上野由加里
吉野 美保	古林 明子	西田 知世	大久保佐有里	鳥尾 明良
名西 博章	池田 篤史	関口 佳子	義富 博正	佐藤由紀代
中川 博雅	梶川 佳奈			

デザイン

〔審査員〕 遠藤 亨
〔特別出品〕 坂本三千一
〔招待〕 浅野 昌哉 斎藤 繁次 坂野美恵子
〔無鑑査〕 敷島のり子
〔賛助出品〕 福井 章

〔特選〕 安藤 千枝 (徳島新聞社長賞)

佐々木 愛

〔準特選〕 福島 康仁 山住 幸子 坂東真由美

〔奨励賞〕 脇本 正久 斎藤志津子 堀 真由美

〔入選〕 豊原 可菜 稲實 宏美 松岡 真由 北島 豊嗣 大西 和美
柴田 咲 寺本 礼子 神崎 利也 堀口亜希子 達見かおる
生田 典子 西川 千晶 南 直樹 吉本由佳里 乾 奈保子
春川 法古 天羽 恵子 廣瀬 香奈 笠井さつき 浪花英梨子
桑内 絵里 遊佐 景子 十河 幸 山本かおり 米岡万里子
斎藤 剛 芦尾 節子 四十宮年代 横田 実希 大塚 尚紀
福本 恭子 原田 寛子 内藤 光貴 村井 千裕 山田あゆみ
貞野みどり 有持 綾子 蔵澄 咲帆 坂本 幸

第57回県美術展出品・入選等状況

部門 区分		日本画	洋画	写真	彫刻	美術工芸	書道	デザイン	計
出品数		62	279	910	30	138	881	112	2,412
人数		56	198	260	29	102	621	96	1,362
入 選	率	61.3%	37.6%	17.1%	60.0%	59.4%	40.2%	42.0%	33.2%
	特別賞	1	1	1	1	1	1	1	7
	特選	2	3	4	1	2	8	2	22
	準特選	3	5	8	2	3	13	3	37
	奨励賞	2	5	8	2	3	13	3	36
	入選	31	92	136	13	74	320	39	705
	計	38	105	156	18	82	354	47	800
落 選	率	38.7%	62.4%	82.9%	40.0%	40.6%	59.8%	58.0%	66.8%
	落選	24	174	754	12	56	527	65	1,612
招 待 等	特別出品		3		1	1	4	1	10
	招待	7	6	22	6	8	41	3	93
	無鑑査			1			2	1	4
	賛助出品	2	9		1	2	1	1	16
	計	9	18	23	8	11	48	6	123
展示数		47	123	179	26	93	402	53	923

◎特別賞は特選の内数である。

徳 島 県 美 術

部門 回数	日 本 画	洋 画	写 真	彫 塑
1	委 員	〔野 間 仁 根 家 永 騏三郎〕	委 員	
2	大 栗 旌 折	野 間 仁 根	上 田 備 山	〔太 田 三 郎 坂 東 文 夫〕
3	委 員	伊 原 宇三郎	同 上	〔太 田 三 郎 坂 鹿 内 芳 洲〕
4	委 員	須 田 国太郎	同 上	同 上
5	上 村 松 篁	田 村 孝之介	小 野 由 行	〔太 田 三 郎 坂 東 文 夫〕
6	西 山 英 雄	伊 藤 繼 郎	川 崎 亀太郎	同 上
7	山 口 華 楊	田 川 勤 次	棚 橋 紫 水	新 田 藤太郎
8	池 田 遙 村	須 田 剋 太	同 上	〔太 田 三 郎 坂 東 文 夫〕
9	水 田 竹 圃	小 出 卓 二	同 上	同 上
10	管 楯 彦	〔鈴 木 信太郎 野 間 仁 根〕	同 上	同 上
11	奥 村 厚 一	井 上 長三郎	岩 宮 武 二	同 上
12	浜 田 観	福 沢 一 郎	棚 橋 紫 水	同 上
13	小 松 均	藤 井 令太郎	同 上	〔辻 東 晋 堂 坂 東 文 夫〕
14	秋 野 不 矩	針 生 一 郎	岩 宮 武 二	針 生 一 郎
15	奥 村 厚 一	向 井 潤 吉	棚 橋 紫 水	管 沼 五 郎
16	同 上	吉 原 治 良	岩 宮 武 二	柳 原 義 達
17	松 尾 冬 青	中 谷 泰	同 上	向 井 良 吉
18	矢 野 鉄 山	池 島 勘治郎	同 上	安 田 周 三郎
19	中 村 貞 以	森 芳 雄	堀 内 初太郎	堀 内 正 和
20	曲 子 光 雄	桂 ヌキ子	岩 宮 武 二	植 木 茂
21	沢 野 文 臣	伊 谷 賢 蔵	同 上	佐 藤 忠 良
22	堂 本 阿岐羅	村 井 正 誠	同 上	辻 晋 堂
23	松 岡 政 信	山 下 大五郎	岩 宮 武 二	井 上 武 吉
24	山 崎 忠 明	大 沢 昌 助	棚 橋 紫 水	菊 池 一 雄

展 審 査 員 一 覧

美 術 工 芸	書 道	デ ザ イ ン
鬼 塚 信 之	委 員	
同 上	田 中 白 村	
同 上	炭 山 南 木	
同 上	炭山南木・織田子青	
同 上	手 島 右 卿	
〔鬼塚信之 新田藤太郎〕	同 上	
鬼 塚 信 之	小 坂 奇 石	
明 石 朴 景	辻 本 史 邑	
会 田 裕 宣	織田子青（漢）・出口草露（仮）	
鴨 政 雄	松 井 恕 流	
近 藤 悠 三	荒井天鶴・後藤泰秀・後藤田香石 田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰	
平 松 宏 春	同 上	
同 上	荒井天鶴・後藤泰秀・後藤田香石 田中双鶴・田中栢翠	
大 西 忠 夫	荒井天鶴・後藤泰秀・後藤田香石 田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰	
明 石 朴 景	同 上	
平 松 宏 明	同 上	
大 西 忠 夫	同 上	
鴨 政 雄	同 上	
平 松 宏 春	同 上	
内 田 邦 夫	同 上	
山 脇 洋 二	同 上	
槻 尾 宗 一	同 上	
山 脇 洋 二	荒井天鶴・後藤泰秀・田中双鶴 田中栢翠・富永眉峰	

部門 回数	日 本 画	洋 画	写 真	彫 (46回まで彫塑)	刻
25	奥村厚一	斉藤真成	棚橋紫水	原武典	
26	梶喜一	島村三七雄	同上	掛井五郎	
27	上原卓	高田誠	伊藤知己	松村外次郎	
28	黒光茂樹	中間冊夫	岩宮武二	小島広志	
29	松岡政信	島田章三	同上	保田春彦	
30	黒光茂樹	田中岑	同上	篠崎明雄	
31	河合健二	田中忠雄	同上	江口週	
32	長谷川青澄	山口長男	{ 岩宮武二 伊藤藤知	一色邦彦	
33	松岡政信	吉井忠	{ 岩宮武二 秋山庄太郎	柳原義達	
34	山岸純	小西保文	岩宮武二	清水九兵衛	
35	樋笠数慶	小荻太郎	同上	桜井祐一	
36	坂口麻沙子	吉井淳二	同上	土谷武	
37	下田義寛	野見山暁	同上	山本正道	
38	同上	須田寿一	高田誠三	清水九兵衛	
39	同上	斉藤真一	同上	清城孝一郎	
40	下保昭	津高和一	{ 岩宮武二 高田誠三	清水良治	
41	橋田二郎	小松崎邦雄	奈良原一高	淀井敏夫	
42	松本哲男	国領經郎	岩宮武二	淀木津一夫	
43	山岸純	利根山光人	三木田誠三	木橋本省	
44	平川敏夫人	赤穴井宏寛	高三木三淳	山崎谷武	
45	福井爽夫人	桜大森朔重	三三木三淳	土峯田敏郎	
46	岩沢重夫人	大谷本重	三三木三淳	土峯田敏郎	
47	穂田一稗	大谷本重	三立木義浩	小島弘造	
48	田淵俊夫人	大沼映夫	立杵隆隆	小建島覺道	
49	中路融夫人	大馬越陽	杵島隆隆	綿引島道	
50	下田義寛	三栖右嗣寛	奈良原一高	古恩田実子	
51	工藤早人	中根樹路	斉藤江康	石井静子	
52	那波多目功一	松藤樹田吉	細高田英誠	石井浦厚	
53	那須勝哉	藤奥谷香博	高高田石三	石井林陸一郎	
54	内田あぐり	佐々木津英	高大石三	小日野野公	
55	松尾敏隆	佐々木津英	高大石三	小日野野公	
56	山崎隆夫	大山本	大石江	石原	
57	岩本和夫	大山本	大石江	石原	

美術工芸	書道	デザイン (37回まで商業美術)
藤本能道	荒井天鶴・後藤泰秀・田中双鶴・田中栢翠 富永眉峰	
三井安蘇夫	同上	金野弘
六角顯雄	同上	大智浩
鈴木貫爾	同上	早川良雄
田村耕一	同上	原弘
山脇洋二	同上	田中一光
浅野陽	同上	奥野英雄
前田泰次	同上	灘本唯人
山脇洋二	同上	大高猛
中村光哉	荒井天鶴・久保幽香・讃岐泰泉・田中双鶴 田中栢翠・富永眉峰・新居藍州	福田繁雄
山脇洋二	同上	永井正一
田村耕一	荒井天鶴・田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰 西岡楚峰	山城隆一
同上	同上	粟津潔
山下恒雄	荒井天鶴・田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰	田中一光
同上	同上	長友啓典
浅野陽	荒井天鶴・久保幽香・讃岐泰泉・春藤大耿 高原清泉・田中双鶴・田中栢翠・長江清幽 新居藍州・西岡楚峰	亀倉雄策
中村光哉	明石春浦・坪井正庵	伊藤憲治
浅野陽	桜井琴風・黒野清字	サイトウ・マコト
山下恒雄	大岡皓崖・山田伍雲・西野象山	佐藤晃一
三浦小平二	花田峰堂・小山素洞・東地滄厓	河北秀也
松永勲	浅見綿龍・森本妙子・加藤大碩	松永真己
山下恒雄	近藤撰南・東山一郎・中野北溟	浅葉克己
島田文雄	谷村意齋・植村和堂・太田義久	藤井三雄
大西長利	安原阜雲・池田桂鳳・金子卓義	五十嵐威暢
山下恒雄	鈴木桐華・西本支屋・金子聰松	青葉益輝
島田文雄	尾崎邑鵬・井茂圭洞・大井綿亭	松永真丸
中井貞次	栗原蘆水・榎倉香邨・種谷扇舟	安西水丸
栗木達介	甫田鷄川・小山やす子・石飛博光	U. G. サト一
宮田亮平	杭迫柏樹・藤木正次・吉田成堂	早川良雄
松永勲	津金孝邦・池田桂鳳・松永暘石	戸田正寿
竹内順一	田中節山・村上俄山・黒田玄夏	杉浦康平
栗木達介	宮崎葵充・赤江華城・金子卓義	秋山孝享
中井貞次	星弘道・宮重小蘭・西野象山	遠藤

第11回 放美展記録

会 期 平成14年5月2日(木)～6日(月・祝)
会 場 県郷土文化会館

日 本 画

〔審査員〕	西野 和男	岡 英彦	橋本 正弘			
〔運営委員〕	長谷 寿					
〔美協理事〕	中川 健	長尾 弘子				
〔無鑑査〕	柳田 一子					
〔放美賞〕	西村美也子					
〔優秀賞〕	平野ひろみ	森崎 雅子	森下 美恵			
〔入 選〕	井藤 茂雄	斎藤 久男	島山 耀子	藤岡 由美	元木 隆次	
	川原 光恵	橋本 隆雄	有持 廣子	坂本 久江	南 清子	
	吉岡 育美	市川 義幸	高部 恒香	木内 和美	枇杷谷千鶴子	
	日野 房子	藪原 美佳	三ッ本繁美(2)	中村 繁子	五宝喜美子	
	米沢 稔	坂東 絵里	岩崎理依子	福添 由記	脇屋ともえ	
	大磯美帆子	板東智恵子	水本 皖次	黒田 實	原 千紗	

洋 画

〔審査員〕	松川 寛	榊田 務	岡本 征二			
〔運営委員〕	玉田 秀子	立岩 巖				
〔美協会長〕	佐野比呂志					
〔美協理事〕	岡 多美子	黒崎 志郎				
〔美協顧問〕	永山 隆二					
〔無鑑査〕	関 京子	河本多恵子	三谷ミヤ子	佐々木 超	福良 哲子	
〔放美賞〕	関 政明					
〔優秀賞〕	坂田 千恵	野上 恵子	田中シゲミ	結城 栄子	大西 文代	
	木下 和江	岸本 花子	川田 績			
〔入 選〕	土橋 正子	田岡 町子	東原 綺子	伊勢 浩章	河村 君子	
	小笠原秋子	谷口 節	岡田 典子	梅津美砂代	武田 洋子	
	正木 房子	青木 幸子	杉村 良典	佐藤 友美	須見 澄子	
	大崎 聡美	堀江 幸子	白草 由子	為実美恵子	岡田 和泰	
	浅山 久子	篠原 昭子	金村 拓也	山口 明美	中川登志子	
	南 清子	曾我部秀子	答島 久子	米田 薫子	堀江 幸子	
	米沢 博	浜田 益子	阿部 昌子	和田 寿子	岩谷 明	
	佐々木 茂	篠原 稔	丸関 朋子	田中 康子	鈴木 敬子	
	川原 禮子	新居 千尋	藤井 香世	越久 高照	浅井 香織	

北 美智子	佐々木輝実	松下 愛	騎馬 政美	島津加寿子
中本真由美	漆川 美希	田野 安子	内田耕一朗	二條 均
青木 成実	島田 英子	島田美奈子	小川 雅代	冨田 久義
山根 秀子	市原 幸子	川原むつみ	大西 道夫	日野 邦恵
木田サチコ	吉岡 英樹	東 紀美子	岡 文子	友成 佳代
小倉 英子				

写 真

[審査員]	櫛淵 魏	荒井 賢治	武内 亨		
[美協理事]	酒井 博司	井上 光雄	安長 剛		
[美協顧問]	西條 征二				
[無鑑査]	柳本 正	赤木 昭子	堀口 幸男		
[放美賞]	佐々木敏幸				
[優秀賞]	吉崎 伝	武林 恭史	根ヶ山 治	岡村 清	粟田ふさえ
	神野 太三	野口 道子	四宮 清文	西野 倫子	播 博文
	川西 明雄	浜田茄代子	正見 晃章	下山 久男	柳川 信子
	松尾 寛一	村岡 洋一	山中 祐子	大和 健司	奥野 持重
[入 選]	前坂 祥文	三木 恭子	松尾 康弘	松尾 洋子	川真田慶治(3)
	吉崎 伝	久保 英樹(3)	武林 恭史(2)	高田 幸政	谷 賢太郎(3)
	溝淵 寛治	久我 千鶴(3)	根ヶ山美江	根ヶ山 治(2)	西岡 敏
	梶村 鉄次(2)	森 光(3)	岡村 清	粟田ふさえ	佐野 和史(3)
	大岸 昭	一宮 由子	吉本 武彦	佐藤 考利	喜多 昌弘
	神野 太三	稲住 修次	田中 伸廣(2)	徳永 逸夫	阿部 啓三
	相原 朝生(2)	田中喜久夫(2)	守原 修(2)	佐治 孝	志摩 育美(2)
	森 英弘	三宅 道子	福田 満雄	中野 昭子(2)	野藤みきよ
	野藤 敏美	和泉 勝	森内 昭男(2)	上杉 大一	石原 潔(2)
	石川 徹雄	米塚 稔	野口 道子	棚橋 仁志	竹内 好文(2)
	渡邊 信二	岡村 吉啓(2)	四宮 清文	木村美紗子	西野 倫子(2)
	井上 秀人	河田 清	杉本 展久	大南真理子	国見 良幸
	浜田茄代子	稲垣 喜修	塩本 勝義	下山 久男	林 達也
	佐々木敏幸	内田 忠秋(2)	渡辺 幸	島 廣幸	柳川 信子(2)
	土橋 成行(2)	櫛谷 文次	公文 久明	森住 博(2)	大津 勝治
	佐野 始志	松田 昇	松尾 良子	松尾 寛一	鴻野 孝
	富永 幸子(2)	佐野 俊二	米沢美千代	田中 義孝	村上 利明
	高木 伸幸(2)	板東 律雄(2)	梅久 匠	中村 茂人	米田 道代
	長尾 守	福原 和代	原井 裕夫(2)	岸田 義市(3)	阿部 美昭
	中川 定典	中尾 一元	中島 敏子(3)	後藤 和美	梅本 貞範

辺見 博子	辻 義徳(2)	辻 絹子	松本 春子(2)	山中 祐子
中河美智子(2)	大西 啓子	向 儀一郎	四宮 正恵	吉本 亮子
大和 健司	小川 剛	笹野 由紀	鮎川日出一	宮崎 行弘
笹田 敏雄	三宅 隆子	吉田 仁志(2)	伊達 照子	阿部 房恵
榎本 尚美	奥野 持重(2)	谷口 恒夫	武田 淳子(2)	吉村 敏嗣

彫 刻

〔審査員〕	長岡 強	佐藤 隆	井下 俊作			
〔運営委員〕	松永 勉					
〔美協副会長〕	河崎 良行					
〔美協理事〕	鎌田 邦宏					
〔無鑑査〕	笠井 正彦					
〔放美賞〕	東 光司					
〔優秀賞〕	川下 知子					
〔入選〕	棕本 幸男	武田亜希子	佐藤 勇	二宮 治夫	東 安一	
	安藝 淳二	岸本 真美	堀元 麻由	原 麻子	吉岡 拓馬	
	後藤 建介	尾崎 亜衣	丸山 恵里			

美術工芸

〔審査員〕	森 明治	犬伏 絢				
〔運営委員〕	高橋 勇	松下 慶一				
〔無鑑査〕	吉田 敏明	桜井 慎治	湯浅カツエ	斎藤 和彦		
〔放美賞〕	四十宮年代					
〔優秀賞〕	寒川 治雄	美浪 文	相原 一恵	田村 純子	宇山 裕子	
〔入選〕	酒井 勇治	竹内寿和子	隅田 良佑	棕本 幸男	田口健一郎	
	太田 進	竹重 寛	長尾 重美	吉田 祐子	山本美恵子	
	河野知江美	小林 文子	武田 由枝	平岡英津子	寒川 治雄	
	椎野 隆子	松原 敦子	田岡 昌子	高井美代子	日高 琴美(2)	
	櫻間 修子	桶川 美恵	加藤 和美	森 克江	加藤 伴江	
	鳥井 明子	柿田 小糸(2)	北野 亘章	島村 広子(2)	藤井 雅代(2)	
	清原 真弓	本間 伸一	坂東芳太郎	藤田 恭子	梶原 浩二	
	吉野 由紀	吉田 陽子	吉田 晃子	奥谷麻里亜	美浪 文	
	一宮多枝子	阿部真由美(2)	岸田八代子	桑原 勢	宮本 薫	
	有内 麻里	大川 雅代	平尾 静子	山内 雅文	今出 周子	
	楠 正陶	近藤 静恵	漆原 久子	村上 綾子	阿部まきみ	

阿部ひとみ	榎原 道雄(2)	榎原フサコ	惣中 順子	松永 卓司
中筋 道代	斎藤 靖子	田中 宗克	中川 英子	田村栄一郎
西岡 政行(2)	板東 宏行	鶴山 早苗	後藤 建介	辰見 峯子
釜内 正子(2)	水野 豊子	中村ようこ	前野 亮治(2)	前野 育代
篠原 光彦	美馬 潤子	宇山 裕子	五味八千代	一條 宏明
村川 栄一(2)	清水美代子	手塚 健一	富永 裕子	阿部 史

書 道

[審査員]	長谷 美峰	多田 清芳	西 南龍		
[運堂委員]	上田 溪水	長原 皋聖	薄田 玲泉		
[美協副会長]	讃岐 泰泉				
[美協理事]	新居 藍州	勝瀬 景流	荒井 彭仙	春藤 大耿	
[美協顧問]	荒井 天鶴				
[無鑑査]	川村 春琴				
[放美賞]	笠原 笑子				
[優秀賞]	大野シゲ子	原 貞子	弘田 敏章	加藤 智子	若林 節子
	丸田 恵風	丸岡 智子	西岡 咲子		
[入 選]	高木 房一	藤永 真里	田中 久子	吉田 和子	高田由里子
	岡本美津代	黒田 明香	四宮 恭子	洲崎 忠雄	中川恵美子
	久積富美子	三崎美佐代	加藤かつ子	市原 典子	福永 麻里
	井上 彰夫	小野 幸久	生野 久美	林 美雪	荒川 哲信
	倭 和泉	井内 廣容	久保 光瑤	桐生 弘美	中村ノブコ
	昇 利弘	大和 公代	田中 祐介	春川 青超	庄野 修一
	藤本満里子	遠藤玻都恵	仁木 志香	平岡 幽琴	富永 美祥
	和田 幽彩	矢野 照代	浜口 敏香	野田 満代	佐藤 嘉子
	中野比呂子	福永 培風	佐々木 敬	武樋 清香	田仁 恵子
	田中 稔子	野口 和子	仁志 孝子	松田 敬子	見渡サカエ
	竹田 昭美	浅野 治代	野田 恭子	山口寿満子	百合 潤子
	片山 保	内田 裕士	権田 明菜	下泉 梨恵	向井美由希
	井上奈緒子	梅本えり子	荒川 佳子	坪内佐智子	野口 有香
	岡本 奈緒	塩本 絵理	林 靖子	神田祐花理	村部 幸子
	山崎さゆり	日下 旭	乾 信雄	奥田 文子	折野 茂幸
	岡久富士子	陶久 房枝	杉本 妙子	大下 富江	桑田 次雄
	吉田 由輝	木宮安希子	橋本 実佳	藤井 朝香	泊 陽子
	原田 光恵	三宅 夏生	川下小夜子	岩崎 麻美	林 みゆき
	中村 春岳	藤本 富子	杉本千鶴子	出口久美子	稲田 翔邨
	黒田ゆりか	後藤田 瞳	牧野美弥子	山内 国枝	宮本 暁美

デザイン

〔審査員〕 田中 一郎 浅野 昌哉 沢口 功
 〔運営委員〕 坂本三千一 坂野美恵子
 〔美協理事〕 福井 章
 〔無鑑査〕 北島 豊嗣
 〔放美賞〕 山田あゆみ
 〔優秀賞〕 横田 実希 岡本 妙子 福本 恭子 吉本由佳里
 〔入 選〕 小谷 万智 河野 健 井原 愛 貴志 侑子 村田 真祐
 宮本 桂江 生田 典子 稲実 宏美 岡本 麻希 豊原 可菜
 濱田 真弥 山本かおり 山崎のぞみ 笠原 雅恵 大塚 尚紀
 原田 寛子 笹田 夏美 山口 舞 池内 由貴 内藤 光貴
 村井 千裕 角元 良衣 岡 ゆかり 浮津 吉陽 稲住 晃嗣
 小島亜寿紗 吉原 千尋 宮崎 良美 住友 麻江(2) 本田久美子
 中野 仁美 坂東真由美 高見 真平 浜崎 恵美

第11回放美展出品・入選等状況

区分	部門	日本画	洋画	写真	彫刻	美術工芸	書道	デザイン	計
出品数		63	205	500	22	137	191	91	1,209
人数		55	155	214	21	92	181	89	807
入選	率	55.6%	39.0%	38.0%	68.2%	73.7%	57.1%	44.0%	47.1%
	放美賞	1	1	1	1	1	1	1	7
	優秀賞	3	8	20	1	5	8	4	49
	入選	31	71	169	13	95	100	35	514
	計	35	80	190	15	101	109	40	570
選外	率	44.4%	61.0%	62.0%	31.8%	26.3%	42.9%	56.0%	52.9%
	落選	28	125	310	7	36	82	51	639
無審査	審査員	3	3	3	3	2	3	3	20
	運営委員	1	2		1	2	3	2	11
	美協役員	1	4	4	2		6	1	18
	無鑑査	1	5	3	1	4	1	1	16
	計	6	14	10	7	8	13	7	65
展示数		41	94	200	22	109	122	47	635

各部記録

日 本 画 部

部 会 長 西 野 和 男

年間展望

◎第11回放美展（5月2日～5日 県郷土文化会館）

昨年よりも応募点数が9点増えて、質においても非常に充実した作品が揃った展覧会になった。応募点数63点、うち35点を入賞・入選とした。全般的に感じたことは、いずれの作品も描きたいものが何であるか、作者の意図がよくわかり、新鮮な切り口で取り上げたものが多かった。

放 美 賞	「野菜たち」	西村美也子
優 秀 賞	「冬の散歩道」	平野ひろみ
”	「春譜」	森崎 雅子
”	「夕映え」	森下 美恵

◎第57回県美術展（11月9日～17日 県郷土文化会館）

今回の審査は、創画会会員の岩本和夫先生にお願いした。応募点数62点で、その中から特選（特別賞）1、特選1、準特選3、奨励賞2、を含む入選38点を選んだ。岩本先生からの総評は次のようなものであった。

全般に、真剣に日本画に取り組んでいる印象を受けたが、絵の完成度を高めようと懸命のあまり、「手作業」が見え過ぎる作品が多かった。

手を入れ過ぎると、生き生きとしたものを壊すこともある。「これが描きたかったのだ」という強いものを持ちつつ、モチーフの説明に陥らないよう、最後は見る側に結論をゆだねるくらいの潔さが必要だ。

もう一つの課題は、淡い輝きを放つ岩絵具の特性を生かすこと。日本画の技法の熟達を目指すのは魅惑的な作業だが、「うまく見せよう」という気持ちが勝ってしまっているといけない。賞に選ばれた作品については、それらのことを自然に使い分けているようである。

このほか、日本画材との付き合いが短いと思える人の中にも、製作への情熱が見えた。難しさに打ち勝ち、自己表現していく若い力の今後にも期待したい。

特 選 (四国放送社賞)	「惜春」	柳田 一子
”	「溪流」	中西 芳雄
準特選	「緑陰」	反田 卓
”	「響」	江本美千代

準特選	「無・有・無(三)」坂	容子
奨励賞	「秋立つ」	森崎 雅子
〃	「梅、耀く」	島山 耀子

会員消息

2月	第34回画展ふるさと	県郷土文化会館	濱口芳春・森 蔦苑
〃	第90回徳島女流美術家協会展(小作品)	阿波銀プラザ	長尾弘子・土井洋子他
3月	第37回日本墨彩画院展	香川県文化会館	森 蔦苑・高田瑞雪・長谷 寿
〃	第42回日本南画院展	東京・京都・大阪 美術館	森 蔦苑・長谷 寿 濱口芳春(大阪市長賞)・藤井瑞雲
〃	スケッチと物理の教師	第1集出版	濱口芳春
〃	第10回田野町全国水墨画展	高知県	森蔦苑(田野町長賞)・市川義幸 江上豊溪(奨励賞)・木内和美
4月	「長尾弘子の画集Vol. 3」出版		長尾弘子
〃	第35回珀雲社展	阿波銀プラザ	森 蔦苑・長谷 寿・濱口芳春 斉藤谿春・川原光恵・藤井瑞雲
〃	第37回日春展	東京銀座 松屋	岡 英彦・岩瀬洋子
5月	第9回朱泥会展	徳島市シビックセンター	長尾弘子他会員28名、42点の日本画
〃	第31回徳島・仙台文化交流美術展	仙台市せんだいメディアテークギャラリー	(出席者)長尾弘子・富田達子 秋元よし子 (出品者)長尾弘子他計10点(日本画)
〃	第41回阿南市美術展	阿南市文化会館	森 蔦苑・長谷 寿・津田津保三
7月	第8回京都日本画家協会新鋭選抜展	京都府文化博物館	土方るみ子
〃	第2回春郊会現代南画展	徳島市シビックセンター	濱口芳春
〃	第1回スケッチと物理の教師原画展	徳島市シビックセンター	濱口芳春
8月	第91回徳島県女流美術家協会展	県郷土文化会館	長尾弘子・土井洋子他12名(日本画)

8月	中央展出品者絵画展	県郷土文化会館	森 蔦苑・長谷 寿・濱口芳春 藤井瑞雲
〃	第31回絵で見る徳島展	県郷土文化会館	濱口芳春・森 蔦苑
9月	第2回阿南市美術協会日本画研究会	阿南ひまわり会館	長谷 寿・津田津保三
10月	第60回有秋会展	大阪市立美術館	森 蔦苑・長谷 寿・濱口芳春
〃	第4回由岐町文化祭展	由岐ポッポマリン	長谷 寿
11月	第34回日展	東京都美術館	土方るみ子
〃	第31回阿南市文化祭展	阿南市文化会館	森 蔦苑・長谷 寿・津田津保三
〃	第5回溪生社水墨画小品展	阿波銀プラザ	横田谿秀・江上豊溪
〃	日和佐町文化祭展	日和佐公民館	坂本久江・白河邦子・西口光代 南 清子
〃	第8回海部郡合同絵画展	海南文化村	坂本久江・白河邦子・西口光代 南 清子
〃	第3回福井町文化祭展	福井町総合センター	長谷 寿
〃	牟岐町文化協会水墨画展	四電阿南エネルギープラザ	木内和美
12月	第31回徳島新聞社チャリティー作品展	徳島そごう	岡 英彦

洋 画 部

部 会 長 榎 田 務

年間展望

◎第57回県美術展（第1期 11月9日～17日 県郷土文化会館）

今回展の出品総数は279点で、その中から入賞・入選105点が選出された。入選率は昨年とほぼ同率の37.6パーセントと厳選になった。

審査員には、社団法人二紀会理事長の山本貞先生をお迎えした。その審査評を紹介する。

表現方法やモチーフがこれほどバラエティーに富んでいる県展は少なく、楽しかった。結果的に若い人二人が上位に入ったが、ベテランも頑張っていて良い傾向だと思う。残念だったのは、出来はいいのに、独自性が足りないものが多かったこと。自分の言葉で描くように心掛ければ、学んだ技術が生きる。気持ちを率直に出してほしい。

県美術家協会会長賞の新居千尋「FREAKS」色感がいい。学生らしい、型にはまっていない柔らかな感性が色彩と一緒に、しなやかに歌い上げられていて新鮮だ。一つの色が次の色を引き出しているようで、あまり苦勞せず、口ずさむように描けたのではないか。絵を描く楽しさが感じられ、努力して描き込んだ絵とは違った訴える力を持っている。

一方、知的な画面構成が際立つのが特選の越久高照「川辺の工場」。受賞経験豊かなベテランらしく表現方法が確立されていて、独自の作風になっている。油をべたべた使わず、こするように仕上げ、抑制された絵の具の効果を引き出している。

もう一つの特選、吉岡英樹「土柱峽獣」は若い人ならではの作。土柱という実際にある風景を足がかりにしなが、空想の動物などを入れて幻想味を加えているのが印象的。現実の風景の中からイメージを喚起する若者らしい柔らかな想像力が非常に楽しい。

◎第11回放美展（5月2日～6日 県郷土文化会館）

洋画部門の応募者数は前回より23人増の155人、点数も37点増の205点である。

入賞・入選は80点で例年のことながら厳選となった。壁面の都合で展示されなかった選外作品も遜色のないもので、不運としかいいようがない。全体的に表現意欲を感じる作品が多く、技術的な面でもレベルアップしている。

◎第17回洋画部会員展（5月23日～26日 県郷土文化会館）

出品総数110点、各作品とも力作ぞろいで見応えのある展覧会となった。会員相互の研究・交流の場としてこの展覧会がさらに充実したものになるよう会員各位のご協力を

切にお願いしたい。

◎平成14年度洋画部絵画講習会（9月8日 鴨島町文化研修センター）

鴨島町教育委員会と鴨島町文化協会のご協力のもと、再開された絵画講習会は本年度で4回目の開催となった。今回は受講者、関係者を合わせ、約80人大規模な講習会で、3人の人物をモデルに、クロッキー、水彩画、油彩画など熱心に取り組んだ。特に今回は3グループに分かれ、グループごとに洋画部の委員が指導にあたった。各グループからそれぞれ3人の委員が感想を述べ、佐野会長から制作についての実践的な講話と一人一人に対して丁寧な作品評があり、盛会裏に終了した。

会員消息

（◎新会員 △住所変更 県展・放美展関係は除く）

- 青木 幸子 洋画部会員展（郷文）、八紅展（阿波銀プラザ）、四人展（喫茶やまなみ）
- 浅山 久子 八紅展（阿波銀プラザ）
- 阿部 昌子 土曜展・洋画部会員展・青美展・徳島県健康福祉祭美術展（郷文）
- 伊勢 浩章 洋画部会員展・徳島平和美術展（郷文）、15人展（ヨンデンプラザ徳島）、月曜会展（喫茶ファンファーレ）、徳島県秀作美術展（県内）
- 乾 繁春 第62回美術文化展（東京都立美術館）、第62回美術文化関西展（大阪市立美術館）、美術文化四国支部展（高知市文化プラザ）、美術文化徳島グループ展（阿波銀プラザ）、美術文化14人展（東京銀座アートギャラリー）、洋画部会員展、中央展出品者絵画展（郷文）、乾繁春洋画個展（川島町図書館）
- 岩谷 明 洋画部会員展・青美展・徳島平和美術展・ふるさとを描き遺す会展（郷文）、第68回旺玄展（東京都美術館）、旺美展中央出品者展（阿波銀プラザ）、つくし会展（ヨンデンプラザ徳島）
- 宇高 桂子 第56回女流画家協会展（東京都立美術館）、洋画部会員展・中央展出品者絵画展、第91回徳島県女流美術家協会展（郷文）、徳島県女流美術家協会小品展（阿波銀プラザ）
- 大西利津子 洋画部会員展（郷文）
- 大野 文雄 青彩美術展（徳島市シビックセンター）、徳島市芸術祭美術展（郷文）、徳島市中央公民館サークル愛まつり展（徳島市中央公民館）
- 岡 多美子 徳島県女流美術家協会小品展・英展（阿波銀プラザ）、洋画部会員展・第91回徳島県女流美術家協会展・徳島市芸術祭美術展（郷文）、新象展（東京都美術館）、徳島仙台文化交流展（仙台メディアテーク）、ストックホルム平和芸術祭（スウェーデン・バルサハンレン）
- 岡田 君代 洋画部会員展・徳島市平和美術展（郷文）、15人展（ヨンデンプラザ徳島）

- 岡田 守 徳島市芸術祭美術展：特別出品・洋画部会員展（郷文）、世代美術展（徳島市シビックセンター）
- 尾形 正二 第62回美術文化展（東京都立美術館）、第62回美術文化関西展（大阪市立美術館）、美術文化四国支部展（高知市文化プラザ）、美術文化徳島グループ展（阿波銀プラザ）、洋画部会員展（郷文）、15人展（ヨンデンプラザ徳島）
- 賀木 道子 第68回旺玄展（東京都美術館）、第68回旺玄展大阪巡回展（大阪市立美術館）、洋画部会員展（郷文）、世代美術展（徳島市シビックセンター）
- 河本多恵子 洋画部会員展（郷文）、八紅展（阿波銀プラザ）、国府文化祭（国府コミュニティセンター）
- 岸本 花子 洋画部会員展・徳島市芸術祭美術展・徳島新聞カルチャー展（郷文）、八紅展（阿波銀プラザ）、八万文化祭（八万コミュニティセンター）
- 木谷 弘 第62回美術文化展（東京都立美術館）、第62回美術文化関西展（大阪市立美術館）、美術文化四国支部展（高知市文化プラザ）、美術文化徳島グループ展（阿波銀プラザ）、美術文化14人展（東京銀座アートギャラリー）、15人展・悠美展（ヨンデンプラザ徳島）、世代美術展（徳島市シビックセンター）
- 黒崎 志郎 55周年記念示現会展・90周年記念日本水彩画会展（東京都美術館）、第33回示現会展徳島支部展（阿波銀プラザ）、洋画部会員展（郷文）
- 後藤ユリ子 洋画部会員展・中央展出品者絵画展・第91回徳島県女流美術家協会展（郷文）、八万文化祭（八万コミュニティセンター）
- 後藤田仁一 第62回美術文化展：会員出品（東京都立美術館）、第62回美術文化関西展（大阪市立美術館）、美術文化四国支部展（高知市文化プラザ）、美術文化徳島グループ展（阿波銀プラザ）、世代美術展（徳島市シビックセンター）
- 斎藤 靖子 日本板画院展（東京都美術館）、洋画部会員展・第91回徳島県女流美術家協会展（郷文）、徳島県女流美術家協会小品展（阿波銀プラザ）、二人展（ギャラリーフォレスト）、絵で見る徳島・中央展出品者絵画展（郷文）、悠美展（ヨンデンプラザ徳島）、神話創生展（フィンランド）
- 嵯峨 潤三 洋画部会員展（郷文）、すどり洋画展（ギャラリーフレンテ）
- 佐々木 超 洋画部会員展・徳島市芸術祭美術展：無鑑査出品（郷文）
- 佐野比呂志 第39回関西独立展：無鑑査出品（大阪市立美術館）、洋画部会員展・徳島市芸術祭美術展：審査員出品（郷文）、世代美術展（徳島市シビックセンター）
- 四宮 久子 二紀展（東京都美術館）、神戸二紀女流展（ギャラリーほりかわ）、夢のき

ざはし展（阿波銀プラザ）

- 島田美奈子 洋画部会員展・徳島市芸術祭美術展・徳島新聞カルチャー展（郷文）、八紅展（阿波銀プラザ）、八万文化祭（八万コミュニティセンター）
- 清水 亟悞 幸せさがし美術展（東京芸術劇場展示ギャラリー）、清水亟悞油絵個展（徳島そごう）、洋画部会員展（郷文）
- 下内 裕次 第52回モダンアート展（東京都美術館）、モダンアート明日への展望展（埼玉県立近代美術館）、モダンアート徳島支部展（阿波銀プラザ）
- 杉本 澄子 中央展出品者絵画展・画展ふるさと展・ふるさとを描き遺す会展（郷文）、旺美展中央出品者絵画展（阿波銀プラザ）
- 鈴江美代子 洋画部会員展（郷文）
- 曾我部秀子 洋画部会員展・徳島市芸術祭美術展（郷文）、八紅展（阿波銀プラザ）、八万文化祭（八万コミュニティセンター）、上八万しらさぎ台文化祭（しらさぎ台町づくり活動センター）
- 田岡 莊二 洋画部会員展（郷文）
- 田中 康子 八紅展（阿波銀プラザ）
- 谷 節子 第68回旺玄展：会友出品（東京都美術館）、中央展出品者絵画展・ふるさとを描き遺す会展（郷文）、旺美展中央出品者絵画展（阿波銀プラザ）、21世紀に遺したい徳島企画展（徳島城博物館）
- 玉田 秀子 洋画部会員展・徳島市芸術祭美術展・徳島新聞カルチャー展（郷文）、八紅展（阿波銀プラザ）、波の会つくしの会合同絵画展（阿南市文化会館）
- 為実 啓剛 土曜展・青美展・徳島市芸術祭美術展（郷文）、15人展（ヨンデンプラザ徳島）、ねんりんピック美術展（いわき市）
- 辻野 正廣 洋画部会員展（郷文）、青彩美術展（徳島市シビックセンター）
- 露口 敏幸 洋画部会員展（郷文）
- 永井 郁枝 東光会展（東京都立美術館）、洋画部会員展・中央展出品者絵画展・東光会徳島支部展（郷文）
- 中村 晴代 洋画部会員展（郷文）、全美展（徳島市シビックセンター）
- 中山 清一 第62回美術文化展（東京都立美術館）、第62回美術文化関西展（大阪市立美術館）、美術文化京都展（京都市美術館）、美術文化四国支部展（高知市文化プラザ）、洋画部会員展・徳島市芸術祭美術展（郷文）
- 長野 満子 洋画部会員展・ふるさとを描き遺す会展・画展ふるさと展（郷文）
- 永山 隆二 洋画部会員展・徳島市芸術祭美術展：審査員出品（郷文）、世代美術展（徳島市シビックセンター）、15人展（ヨンデンプラザ徳島）
- 南城ミツ子 東光会展：会員出品（東京都立美術館）、洋画部会員展・徳島市芸術祭美

術展：招待出品・東光会徳島支部展・中央展出品者絵画展（郷文）

- 仁木 幸子 八万文化祭（八万コミュニティセンター）
- 西川 敬子 洋画部会員展・第91回徳島県女流美術家協会展・徳島平和美術展（郷文）、
徳島県女流美術家協会小品展（阿波銀プラザ）
- 浜田 益子 洋画部会員展・徳島市芸術祭美術展（郷文）、八紅展（阿波銀プラザ）
- 平尾マサミ 洋画部会員展（郷文）、常設展（文化の森レストラン竹）
- 平木 美鶴 個展（ギャラリーアルファ名古屋）、現代版画展（大興屋画廊企画グループ展・名古屋）、第15回現代日本絵画展、（宇部市）、二紀展・日本版画協会展（東京都美術館）
- 福富 正二 洋画部会員展（郷文）
- 藤川 明子 徳島市芸術祭美術展（郷文）
- 藤崎 恭子 洋画部会員展（郷文）
- 榎田 務 洋画部会員展・東光会徳島支部展・四国大学教員展（郷文）、四国大学学
外展（阿波銀プラザ）
- 三谷ミヤ子 洋画部会員展・徳島市芸術祭美術展：招待出品（郷文）、八紅展（阿波銀
プラザ）、東富田文化展（東富田コミュニティセンター）、四人展（喫茶や
まなみ）
- 峯 幸子 洋画部会員展・第91回徳島県女流美術家協会展（郷文）、徳島県女流美術
家協会小品展・む・アート展（阿波銀プラザ）
- 元廣 俊子 洋画部会員展（郷文）、八紅展（阿波銀プラザ）
- 山口 和子 洋画部会員展・徳島市芸術祭美術展（郷文）、青彩美術展（徳島市シビッ
クセンター）
- 山田 越子 洋画部会員展（郷文）
- △吉田収二郎 第68回旺玄展：会友出品（東京都立美術館）、中央展出品者絵画展・ふる
さとを描き遺す会展・画展ふるさと展（郷文）、旺美展中央出品者展（阿
波銀プラザ）
- 大西 文代 青彩美術展（徳島市シビックセンター）
- 尾崎 素子 東光会展（東京都立美術館）、洋画部会員展・東光会徳島支部展（郷文）、
白鳳洋画グループ展（鳴門市立図書館）
- 河野 公子 洋画部会員展・徳島平和美術展・青美展（郷文）、15人展（ヨンデンプラ
ザ徳島）、鳴門市展（鳴門市民会館）
- 鈴木 明雄 洋画部会員展・土曜展・青美展（郷文）、個展：古都奈良水彩画展（ドク
ターエンドー徳島）
- ◎田中シゲミ 徳島市芸術祭美術展・徳島新聞カルチャー展（郷文）

- △田渕 浜子 東光会展：会友出品（東京都立美術館）、洋画部会員展・東光会徳島支部会展・中央展出品者絵画展（郷文）
- 林 信夫 洋画部会員展（郷文）
- 大西 道夫 第52回モダンアート展（東京都美術館）、モダンアート京都展（京都市美術館）、モダンアート徳島支部展（阿波銀プラザ）、道草グループ展（やまなみ珈琲店）
- 北 美智子 洋画部会員展・徳島市芸術祭美術展（郷文）、八紅展（阿波銀プラザ）、四人展（喫茶やまなみ）
- 佐藤 敬子 現展（東京都美術館）、洋画部会員展・中央展出品者絵画展・青美展（郷文）
- 関 政明 個展（技の館、よんでんエネルギープラザ阿南）、小松島市展春・秋（小松島市中央公民館）
- 福本 武子 東光会展（東京都立美術館）、洋画部会員展・東光会徳島支部展・中央展出品者絵画展（郷文）
- 福良 哲子 洋画部会員展・徳島市芸術祭美術展無鑑査出品、徳島新聞カルチャー展（郷文）、八紅展（阿波銀プラザ）、加茂谷文化祭（加茂谷公民館）
- 井沢 忠昭 全理展（東京都代々木）、加茂谷文化展（加茂谷公民館）
- 大津 憲文 洋画部会員展（郷文）、波の会つくしの会合同絵画展（阿南市文化会館）
- ◎東 紀美子 15人展（ヨンデンプラザ徳島）、波の会つくしの会合同絵画展（阿南市文化会館）
- 笹田 興一 洋画部会員展（郷文）、15人展（ヨンデンプラザ徳島）
- 中辻奈美枝 洋画部会員展（郷文）、波の会つくしの会合同絵画展（阿南市文化会館）、徳島県秀作美術展（県内）
- 住友 義彦 洋画部会員展（郷文）、羽ノ浦町文化祭（羽ノ浦町総合体育館）
- 米田 薫子 八紅展（阿波銀プラザ）、那賀川町文化祭（那賀川町立図書館）
- 武市善次郎 洋画部会員展・徳島平和美術展・青美展（郷文）、15人展（ヨンデンプラザ徳島）
- 天田 弘之 第52回モダンアート展（東京都美術館）、モダンアート京都展（京都市美術館）、第22回関西モダンアート展（高知市文化プラザ）、モダンアート明日への展望展（埼玉県立近代美術館）、ヌッポージャパニーズ国際美術展（パリー）
- 野村 雅子 洋画部会員展（郷文）、波の会つくしの会合同絵画展（阿南市文化会館）
- 前野 亮治 三美展（ギャラリーミハラヤ）
- 松川 寛 第52回モダンアート展（東京都美術館）、モダンアート京都展（京都市美

術館)、洋画部会員展・燎4人展(郷文)、第16回現代美術国際交流展:受賞(東京国際フォーラム)、日仏作家フランス展—空と空間— テーラ財団賞:受賞(パリ・ブルジュ)

- 水間 利生 第62回美術文化展(東京都立美術館)、第6回美術文化関西展(大阪市立美術館)、美術文化四国支部展(高知市文化プラザ)、洋画部会員展(郷文)、世代美術展(徳島市シビックセンター)
- 宮本 幸江 東光会展:会員出品(東京都立美術館)、東光会徳島支部展・洋画部会員展・第91回徳島県女流美術家協会展・第34回石井美術の会作品展(郷文)、仙台/徳島文化交流展(仙台市メディアテーク)
- 毛利 谷子 東光会展:会員出品(東京都立美術館)、第91回徳島県女流美術家協会展・東光会徳島支部展・中央展出品者絵画展・第34回石井美術の会作品展・洋画部会員展(郷文)、徳島県女流美術家協会小品展(阿波銀プラザ)、徳島/仙台文化交流展(仙台市メディアテーク)
- 大塚 政孜 洋画部会員展(郷文)、第4回鴨島・市場・阿波三町交流美術展(各町文化センター)、市場町文化協会総合作品展・第21回市場町文化祭(市場町ふれあいセンター)
- 唐渡 覚 第4回鴨島・市場・阿波三町交流美術展(各町文化センター)、市場町文化協会総合作品展(市場町ふれあいセンター)
- 吉田 実 55周年記念示現会展(東京都美術館)、洋画部会員展(郷文)、第33回示現会展徳島支部展(阿波銀プラザ)、第4回鴨島・市場・阿波三町交流美術展(各町文化センター)
- 越久 高照 洋画部会員展・青美展・徳島市芸術祭美術展(郷文)、藍美展(藍住町福祉センター)、さかいでARTグランプリ(坂出市美術館)
- 片山 富市 第68回旺玄展:会友出品(東京都美術館)、第68回旺玄展大阪巡回展:会友出品・第50回関西旺玄会展(大阪市立美術館)、洋画部会員展・中央展出品者絵画展・第34回石井美術の会作品展(郷文)、第6回旺美展、旺玄会東四国支部展(阿波銀プラザ)、第8回上板美術愛好会作品展(上板町枝の館)
- 二條 均 洋画部会員展・徳島平和美術展・青美展(郷文)、板野美術クラブ展(ヨンドンプラザ徳島)
- 藤井 香世 徳島平和美術展(郷文)、15人展(ヨンドンプラザ徳島)、月曜会展(喫茶ファンファーレ)
- 堀切 薫子 洋画部会員展(郷文)、青彩美術展(徳島市シビックセンター)、藍美展(藍住町福祉センター)

- 三沢 尚子 関西水彩画展・同会員展（大阪市立美術館）、洋画部会員展・燎四人展・第91回徳島県女流美術家協会展（郷文）、徳島県女流美術家協会小品展・ペアーレ水彩画展（阿波銀プラザ）
- 三好 初子 東光会展：会員出品（東京都立美術館）、「藍の詩」～三好初子洋画個展・東光会徳島支部展・洋画部会員展・第91回徳島県女流美術家協会展（郷文）
- 岡田 光男 徳島平和美術展・青美展（郷文）、第33回示現会徳島支部展・鴨島美術グループ展（阿波銀プラザ）
- 岡本 征二 洋画部会員展（郷文）、鴨島美術グループ展（阿波銀プラザ）、第4回鴨島・市場・阿波三町交流美術展（各町文化センター）、鴨島町総合美術展（鴨島町文化研修センター）
- 河田 安市 第34回日展：会友・入選、第78回白日会展：会員出品（東京都立美術館）、中央展出品者絵画展・洋画部会員展（郷文）
- 岡田 和泰 洋画部会員展（郷文）、第4回鴨島・市場・阿波三町交流美術展（各町文化センター）、鴨島町総合美術展（鴨島町文化研修センター）
- 島上 二郎 東光会展（東京都立美術館）、洋画部会員展・東光会徳島支部展（郷文）
- 下時治郎秀臣 第78回白日会展：会員出品・第34回日展（東京都立美術館）、白日会巡回展（愛知、鹿児島、大阪）、かけがえのない現象展（日本橋三越）、現代洋画秀作展（県青少年センター、大阪梅田画廊）
- 志摩 政照 第4回鴨島・市場・阿波三町交流美術展（各町文化センター）、鴨島町総合美術展（鴨島町文化研修センター）
- 鈴木 敬子 洋画部会員展・M展（郷文）、鴨島美術グループ展（阿波銀プラザ）、第4回鴨島・市場・阿波三町交流美術展（各町文化センター）
- 真野 孝彦 第4回鴨島・市場・阿波三町交流美術展（各町文化センター）、鴨島美術グループ展（阿波銀プラザ）、青美展（郷文）
- 村本恵美子 洋画部会員展（郷文）
- △結城 栄子 Departure2002（阿波銀プラザ）、関西国画展（京都市立美術館）
- 小笠 正明 洋画部会員展（郷文）
- 川田 績 洋画部会員展（郷文）、脇町文化祭（マルナカ脇町店）
- 喜多 直彦 洋画部会員展（郷文）、脇町文化祭（マルナカ脇町店）
- 近藤 克子 第91回徳島県女流美術家協会展・東光会徳島支部展・ふるさとを描き遣す会展（郷文）、個展（脇町：河野メリクロン・くつろぎ館）
- 島川 君子 東光会展：会員出品（東京都立美術館）、東光会徳島支部展・洋画部会員展・中央展出品者絵画展（郷文）、脇町文化祭（マルナカ脇町店）
- 関 京子 洋画部会員展（郷文）

- 武田 洋子 洋画部会員展（郷文）、第1回輪の会展（ヨンデンプラザ池田）、三好郡教職員春風展（たばこ資料館）、土曜画会展：三好文化祭協賛出品、三加茂まつり協賛出品
- 田所 米子 草美展（東京都浅草公会堂）
- 藤本 晴子 二科展（東京都立美術館）、洋画部会員展・中央展出品者絵画展（郷文）、脇町文化祭（マルナカ脇町店）
- 増井 厚子 洋画部会員展（郷文）、エナジー展（県立文化の森）
- 真鍋 弘子 洋画部会員展（郷文）
- 三谷多美子 洋画部会員展（郷文）、貞光町文化祭（貞光町ゆうゆう館）
- 小笠原秋子 洋画部会員展（郷文）、第1回輪の会展（ヨンデンプラザ池田）、土曜画会展：三好文化祭協賛出品、三好郡教職員春風展（たばこ資料館）
- 金岡 義和 現代童画会展（東京都立美術館）、中央展出品者絵画展（郷文）、第1回輪の会展（ヨンデンプラザ池田）
- 川原 禮子 洋画部会員展（郷文）、第1回輪の会展（ヨンデンプラザ池田）、土曜画会展：三好文化祭協賛出品
- 木下 和江 洋画部会員展（郷文）、第1回輪の会展・個展（ヨンデンプラザ池田）、土曜画会展：三好文化祭協賛出品
- 田野 安子 洋画部会員展（郷文）、第1回輪の会展（ヨンデンプラザ池田）、土曜画会展：三好文化祭協賛出品
- 為実美恵子 洋画部会員展（郷文）、第1回輪の会展（ヨンデンプラザ池田）、井川町なでしこまつり（井川町中央公民館）、土曜画会展：三好文化祭協賛出品
- 藤埜 理 創元会展（東京都美術館）、アコンズ展（丸亀市）、創美展（観音寺市）、洋画部会員展（郷文）
- 藤丸 家栄 洋画部会員展（郷文）、第1回輪の会展（ヨンデンプラザ池田）、土曜画会展：三好文化祭協賛出品
- 山口美千代 洋画部会員展・青美展（郷文）

会員の訃報

立岩 巖氏（県美術家協会理事、洋画部委員、県展招待）が平成15年1月7日ご逝去されました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

写 真 部

部 会 長 櫛 淵 魏

年間展望

◎第57回県美術展（第1期11月9日～17日 県郷土文化会館）

今回展の応募総数910点、出品者数260人で、出品品数、人数共に前回展より僅かに増加した。審査員には日本写真家協会副会長、東京工業大学教授の細江英公先生にお願いした。審査結果は特選4点、準特選8点、奨励賞8点、入選136点が選出された。審査終了後、奨励賞以上の作品について一点一点懇切な選評をいただき大いに勉強になった。全体の総評として「全般に質が高く、バラエティに富んでいた。モノクロ作品が多いのもいいことだ。モノクロは写真の原点であり、これを究めて行ってほしい。ただプリント技術は全般に低下している。優れた作品のオリジナルプリントを展覧会に足を運んで見てほしい。良い作品に触れることが、いい写真を撮る近道だ」というアドバイスをいただいた。

特 選	「競演」	森住 博（県知事賞）
”	「現代」	松田みゆき
”	「原生林と紅葉」	岩崎 英昭
”	「小春日」	竹原 章子
準特選	久保英樹・西野倫子・森内昭男・船越正文・坂東裕子 宮本幸治・柳谷雅夫・赤木昭子	

開展前日には受賞者の表彰式が阿波観光ホテルであり、引き続き受賞者、来賓、役員、関係者が集い、オープニングパーティーが盛大に開催された。

◎第11回放美展（5月2日～6日 県郷土文化会館）

応募総数500点、出品人数214人、前回展より出品数、人数共に若干増加した。審査員として櫛淵魏、荒井賢治、武内亨が担当し、放美賞1点、優秀賞20点、入選169点を選んだ。

放美賞	佐々木敏幸
優秀賞	吉崎 伝・武林恭史・根ヶ山治・岡村 清・粟田ふさえ 神野太三・野口道子・四宮清文・西野倫子・播 博文 川西明雄・浜田茄代子・正見晃章・下山久男・柳川信子 松尾寛一・村岡洋一・山中祐子・大和健司・奥野持重

◎平成14年度徳島県秀作巡回美術展（10月16日～11月25日 県内各地）

写真部からは、西條征二、森賢一、井藤光章、林敏彦の四氏が出品した。

◎県美協 写真部撮影会（6月23日）

本年度撮影会は、撮影地を京都大原の里と決めて、参加者を募集したところ45名の参加者があった。大型観光バスで6月23日午前7時徳島駅前を出発、11時大原到着。三千年など周辺の名刹を巡り、寂光院に至る大原野を撮影して、午後3時出発、予定どおり午後7時徳島駅に無事帰着した。今回の撮影会の案内、会員募集等事務一切を三木晴夫、会計事務を古井謙吉、旅行中の世話を井藤光章、林敏彦、上野照文、井上憲治の各委員が担当した。

各分野での会員の活動状況 ～中央展・個展・団体展など～

◎森住博氏が平成14年度第9回芸術文化奨励賞を受賞した。

◎木田英之氏が6月に第5回日本自費出版文化賞のグラフィック部門賞を受賞した。

写真集「黒白のメッセージ」が昨年の県出版文化賞に輝いたのに次いでの快挙であった。

◎木田英之氏が写真集「寂光」を出版した。

5月にカラーによる写真集「寂光」を上梓し、徳島新聞紙上などで好評を得た。

◎第36回日本光画会「光展」（1月11日～13日 徳島市シビックセンター）

会員出品：酒井 博司

会友出品：川真田慶治・久保 英樹・佐藤 義雄・清水 定七

公募入選：内田 澄子・内田 忠秋・富加見美枝

◎第27回JPS（日本写真家協会）展（5月22日～30日 東京都美術館）

会員出品：荒井 賢治

公募入選：森 賢一

◎第50回二科会写真部展（9月1日～16日 東京都美術館）

会友出品：荒井 賢治

公募の部（大竹省二賞）：森住 博（会友推挙）

入 選：西條 征二・板東 敏晴・播 博文・赤木 昭子
大和 健司

◎第87回「研展」（10月5日～14日 東京都美術館）

会員出品：酒井 博司

公募入選：佐藤 義雄・清水 定七

◎第49回阿波踊り写真コンクール（10月20日～27日 徳島市阿波踊り会館）

特 選：横山 勤一

準特選：森内 昭男

入 選：浜田佳津子・佐野 辰夫・岡村 清・根ヶ山美江・佐藤 考利
野藤みきよ・柳本 正・粟田ふさえ

◎第9回朝日四国写真展（11月3日 松山市で審査）

徳島県知事賞：野藤 敏美

徳島県本部長賞：上杉 大一

奨 励 賞：森 賢一・田中喜久夫

入 選：阿部 一雄・井上 憲治・川真田慶治・西條 征二・佐藤 考利
武林 恭史・古井 謙吉・森住 博・根ヶ山 治

◎荒井賢治写真展「風そよく」平家徳島落人伝説（1月5日～14日 徳島そごう8F）

平家落人の足跡を県内外にたどり撮影した作品77点を全倍以上の大型画面で展示した。大規模な個展で大きな反響を呼んだ。

1月5日には徳島プリンスホテルでオープニングパーティーが写真人、文化人など400人が集い盛大に開催された。

また、個展と同じタイトルの写真集（日経BP企画刊）も上梓された。

◎第17回全日本写真連盟県本部展（2月1日～3日 徳島市シビックセンター）

県委員長：井藤 光章

出 品 者：阿部 啓三・荒井 賢治・井藤 光章・井上 憲治・井上 光雄
上野 照文・潮満 寿子・内田 忠秋・内田 澄子・梅本 貞範
大西 啓子・川真田慶治・久我 千鶴・櫛淵 魏・西條 征二
佐治 孝・佐藤 義雄・清水 定七・田中喜久夫・土橋 成行
根ヶ山 治・根ヶ山美江・野藤 敏美・野藤みきよ・橋本 圭祐
林 敏彦・姫田 慎治・古井 謙吉・堀口 幸男・三木 晴夫
三木 理司・溝淵 寛治・森 賢一・森住 博・安長 剛
大和 健司・吉崎 伝・吉田 弘・吉村 敏嗣

◎第33回ナルトびんぼけクラブ写真展（2月9日～11日 鳴門市山高ギャラリー）

会 長：川上たかと

出 品 者：川上たかと・木田 英之・板東 敏晴

◎第5回麻植写友クラブ写真展（2月16日～3月15日 キタムラ鴨島店ギャラリー）

会 長：佐野 辰夫

◎第2回ユニットDデジタル写真展（3月1日～3日 徳島市シビックセンター）

代 表：上野 照文

出 品 者：上野 照文・橋本 圭祐・林 敏彦・井上 憲治・多川 静守
美馬 弘典

◎竹岡章写真展「ふる里の四季」（3月19日～21日 ヨンデンプラザ徳島）

木頭村在住の竹岡氏、ふる里である木頭の自然、風土、人々の姿を撮りつづけた個展を開催する。

◎徳島風景写真協会「自然の四季風景写真展」（4月10日～15日 徳島市シビックセンター）

会 長：大貝 久義

◎第19回サンカ会写真展（4月20日～22日 徳島市シビックセンター）

主 催：四国税理士会徳島県写真同好会

出 品 者：内田 忠秋・田中 伸廣・守内 昭男

◎第3回ニコールクラブ徳島支部展（4月20日～22日 徳島市シビックセンター）

支 部 長：櫛淵 魏

出 品 者：井藤 光章・内田 忠秋・内田 澄子・川真田慶治・櫛淵 魏
西條 征二・酒井 博司・佐治 孝・佐藤 義雄・清水 定七
田中喜久夫・中川 定典・野藤みきよ・野藤 敏美・藤田 卓嗣
古井 謙吉・堀口 幸男・三木 晴夫・三木 理司・森 賢一

◎第25回写真同人「炎」作品展（5月18日～20日 徳島市シビックセンター）

代 表：西條 征二

出 品 者：荒井 賢治・井藤 光章・井上 憲治・川真田慶治・櫛淵 魏
久保 英樹・後藤 和美・西條 征二・佐治 孝・佐藤 考利
武林 恭史・田村 泰弘・伊達 照子・土橋 成行・中川 定典
林 敏彦・古井 謙吉・森 賢一・安長 剛・大和 健司
吉崎 伝

◎第20回写真集団「風」作品展（6月1日～3日 徳島市シビックセンター）

代 表：安長 剛

出 品 者：漆原はつ子・小林 保子・妹尾 早苗・堀口 幸男・安長 剛

◎第8回徳島ライカクラブ写真展（6月18日～20日 ヨンデンプラザ徳島）

会 長：武内 亨

出 品 者：武内 亨・藤井 梵・後藤 能大

◎第10回徳島コンタックスクラブ写真展（6月20日～25日 東京銀座京セラコンダックスサロン）

（8月2日～4日 ヨンデンプラザ徳島）

会 長：森住 博

出 品 者：赤木 昭子・荒井 賢治・内田 忠秋・内田 澄子・梅本 貞範
大津 勝治・国見 良幸・西條 征二・佐々木敏幸・田中 伸廣
土橋 成行・根ヶ山 治・根ヶ山美江・播 博文・板東 敏晴
藤田 卓嗣・前坂 祥文・正見 晃章・宮本 幸治・向 儀一郎
森内 昭男・森住 博・森 賢一・大和 健司

◎第16回徳島花を写す会写真展（8月23日～25日 徳島市シビックセンター）

会 長：酒井 博司

出 品 者：久保 英樹・酒井 博司・佐藤 義雄・清水 定七・森 賢一
吉村 敏嗣

◎岩崎英昭写真展「美しい徳島～次世代に残したい徳島の風景」

（8月31日～9月8日 徳島市シビックセンター）

岩崎氏が17年前より美しい徳島の風景を追い求めて、県内各地の四季の風景を写真にしたカラー全紙58点を展示したすばらしい個展であった。

◎第42回写楽会写真展（9月13日～15日 徳島市シビックセンター）

会 長：櫛淵 魏

出 品 者：栗田ふさえ・上野 照文・櫛淵 紳哉・櫛淵 魏・中川 定典
古井 謙吉

◎第7回写一会写真展（9月20日～22日 ヨンデンプラザ徳島）

会 長：後藤 正巳

出 品 者：安部 幸子・潮満 寿子・三木 恭子・宮崎 行弘

◎第3回写好館クラブ写真展（9月27日～29日 ヨンデンプラザ徳島）

代 表：藤井 梵

出 品 者：岸田 義市・藤井 梵

◎第6回鋭光会写真展（10月12日～14日 徳島市シビックセンター）

会 長：林 治郎

出 品 者：近藤 誠造・西條 征二・林 治郎・三木 晴夫・井上 光雄

◎第1回キャノンクラブ徳島支部写真展（10月15日～17日 ヨンデンプラザ徳島）

出 品 者：阿部 一雄・内田 忠秋・内田 澄子・島 廣幸・美馬 弘典
柳川 信子

彫 刻 部

部会長 松 永 勉

年間展望

◎第57回県美術展（平成14年11月9日～17日）

今年の審査は、昭和45年の第25回展にお越しいただいた彫刻家の原武典先生に再度お願いすることになった。出品総数は30点、受賞作品を含めて18点が入選した。総数で昨年より2点少なく、1昨年と同数であった。若い人の初出品も増えているのだが、長年出品していた作家で出品されていないのを思うと少し寂しい感もする。しかし、入選作品には多彩な表現方法が見えたり、また素材を扱う技術の高さが年毎に向上している点など内容の良い作品が目立った。

審査評として「温かく、さわやかな印象の作品が多かった。石、木、金属、ガラスなどさまざまな材料を使うなど好感がもてた」と言われた。そして、気になることは「展覧会に出品する場合に対社会的であることを考慮したインパクトのある作品が良い」とも述べられた。今回の審査にあたっては「調和、均衡、旋律の三つの要素と素材の特徴を生かしたものを評価した」とも話された。先生は個々の作品に対して熱心に審議をし、向度を見直したりされ受賞作品を決定された。

特選（県議会議長賞）に選ばれた武田亜希子さんの“SPACE ZOO”は鉄板を切り、構成した作品である。この作品評は「構成のしっかりした非常に心地よい作品、明快な幾何形態を組み合わせせて空間を作り出している。リズムカルでバランスがとれており、さわやかな風が抜けているような印象だ」と賛辞をいただいた。武田さんは前回の県展で奨励賞を受けており、さらに力をつけてきた結果の受賞であった。若手の一人として今後とも制作を続けてほしい。準特選の笠井正彦さんの石彫作品“向上”については、石の素材を線の形状に扱ったユニークさを評価され、「色彩の組み合わせもよく、伸びやかな線の流れを作り出している」と言われた。笠井さんは過去に何度も受賞しているベテラン作家で、技術の良さにはいつも感心している。同じ準特選の木村大志さんの“ひとめぼれ”に対するは「鶏をよく観察し金属材でよく生命感を作り出している」と評された。鉄の扱い方が非常に上手で見せ方にも工夫している。今後の活動に期待したい作家である。奨励賞には戸田智さんの“ARK～時の方舟”と川下知子さんの“EMOTION”が選ばれた。

◎第11回放美展覧（平成14年5月2日～6日）

今回の応募数は22点で例年並みの応募数であった。全体として、さまざまな素材が使わ

れており、彫刻の多彩な内容を見せていた。具象的作品と抽象表現の作品は約半々であった。その中で个性的であり、見ごたえの確かな作品が受賞作に選ばれた。

放美賞に選ばれた東光司さんは昨年に続いての受賞となった。今回は「刻まれた風景」は石刻の作品。審査員からは確かな構築性と美しいノミ跡でうまくまとめている点が良いとの評価であった。優秀賞には、川下知子さんの“BELIEVE”が選ばれた。作品の何気ないポーズの中に見える充実した量感の的確な表現が審査員に好感としてもたれたようである。その他の作品については、概念的な表現描写にあまりこだわらず感動の伝わるような表現をしてほしい。また、材料の特性を生かし、制作意図をはっきり持った作品を期待したいとの審査員からのメッセージであった。

今回の審査員として、佐藤隆、井下俊作、長岡強の三氏にお願いした。

会員消息

(県展・放美展関係は除く)

居上 真人	9月	第87回二科展：会友出品	東京都立美術館
	10月	第40回記念徳島彫刻集団野外彫刻展出品	徳島市中央公園
	11月	鴨島町美摩病院に「今日も晴れ」「待ち合わせ」を設置	鴨島町
井下 俊作	2月	兵庫県彫刻家連盟展：招待出品	三ノ宮サンパル市民ギャラリー
	9月	第57回行動展：会員出品	東京都立美術館
	10月	第40回記念徳島彫刻集団野外彫刻展出品	徳島市中央公園
大津 文昭	10月	第57回行動展：大阪巡回展出品	大阪市立美術館
	10月	第56回二紀展出品	東京都立美術館
	10月	第40回記念徳島彫刻集団野外彫刻展出品	徳島市中央公園
河崎 良行	1月	日本・ルーマニア文化交流2002年展：理事出品	東京芸術劇場ギャラリー
	4月	春季二紀展：委員出品	東京銀座画廊
	5月	春季徳島二紀展出品	阿波銀プラザ
	8月	第17回徳島二紀展出品	県立近代美術館
	9月	河崎良行デッサン展	ギャラリー カフェグレイス
	10月	第56回二紀展：委員出品	東京都立美術館
鎌田 邦宏	12月	青森県六ヶ所村に「風のハーモニー」を設置	青森県
	5月	春季徳島二紀展出品	阿波銀プラザ
	8月	第17回徳島二紀展出品	県立近代美術館
佐藤 隆	10月	第56回二紀展出品	東京都立美術館
	9月	牟岐町海蔵寺に「同行2人」を設置	牟岐町
	10月	第40回記念徳島彫刻集団野外彫刻展出品	徳島市中央公園
中川 伸一	9月	第57回行動展：会員出品	東京都立美術館

		10月	第40回記念徳島彫刻集団野外彫刻展出品	徳島市中央公園
		10月	第57回行動展：大阪巡回展出品	大阪市立美術館
濱口	恵	4月	第52回モダンアート展出品	東京都立美術館
		5月	モダンアート関西展出品	京都市立美術館
		10月	第40回記念徳島彫刻集団野外彫刻展出品	徳島市中央公園
		12月	第7回日本美術の輸出展出品	ベルギーケント市フランダース 博覧会場ホール
東	光司	1月	第35回モダンアート徳島支部展	阿波銀プラザ
		5月	ストーンミュージアム彫刻展	香川県庵治町
松永	勉	1月	鳴門市北灘町ロマンチック海道彫刻公園に 「水の精」を設置	鳴門市
		2月	兵庫県彫刻家連盟展：招待出品	三ノ宮サンバル市民ギャラリー
		7月	日韓交流彫刻展：招待出品	韓国・木岩美術館
		9月	第57回行動展：会員出品	東京都立美術館
		10月	第40回記念徳島彫刻集団野外彫刻展出品	徳島市中央公園
		10月	第57回行動展：大阪巡回展出品	大阪市立美術館
蒔田	寿	5月	春季徳島二紀展出品	阿波銀プラザ
		8月	第17回徳島二紀展出品	県立近代美術館
		10月	第56回二紀展出品	東京都立美術館
		12月	第36回現代美術選抜展出品	北海道立釧路美術館
長岡	強	3月	第78回白日展：会員出品	東京都立美術館
		4月	第32回日彫展：会員出品	東京都立美術館
		4月	彫刻展OWL・MOVE：会員出品	東京南青山 Art-Space「瑠璃」
		10月	呉市制100周年記念美術展：招待出品	呉市立美術館
		10月	徳島県秀作巡回美術展出品	県下5会場

美術工芸部

部会長 山上 馨

年間展望

◎第57回県美術展（11月9日～17日 県郷土文化会館）

平成14年（2002年）県美術展美術工芸部門の応募点数は138点、応募者は102名であった。

審査は厳正で賞候補21点の中から入賞8点（特選2点、準特選3点、奨励賞3点）が選ばれ、入選74点と無審査出品11点を加えた総展示数は93点となった。

今回の審査員は京都市立芸大名誉教授・日展理事の中井貞次先生にお願いした。審査評として「6年ぶりに徳島県展を審査したが、レベルは前回より着実に上がっている。全国平均以上のレベルと言っていい。ただ既成概念にとらわれ過ぎていないだろうか。例えば陶芸はオブジェが少なく、しかも既成の形に整えてしまっているの、どんなに装飾を凝らしても平凡になってしまっている。どこかで見たことのあるような作品は、自分の作品とは言えない。

同じような作品の繰り返しもやめてほしい。創作的でない作品は芸術ではない。新しいものを作ろうとする気持ちで、一点一点集中して取り組めば、今までにない新しいものが出てくるはずだ。

その点、特別賞と特選の作品は創作的で、独自性があった。県教育長賞の田村純子「遊遊（ゆうゆう）Ⅱ」（陶芸）は表現技術に優れ、確たる存在感のあるオブジェ。形に動きがあり、素材もうまく生かしている。装飾も形と合致し、大胆かつ緻密な作品だ。

特選の綾野昌子「花想」（染色）は、カサブランカを大きく扱った大胆な構図が面白い。おおらかさと叙情性を感じた。色使いは染料の透明感を生かし、制限した色彩の中で、カサブランカが強調されるようにうまくコントロールしている。

二人とも若い、自分の表現世界を持っている可能性を感じた。

今回、他県には多い人形や革、ジュエリーなどがなかったのが残念だ。作家の奮起を期待したい。」

表現の素材や形式が違って、工芸を通して自己主張・自己表現をしていく者にとっては、誠に含蓄のある総評をいただいた。今回は審査員の都合で「審査員を囲む会」をもつことができなかったの、審査後の個別指導をお願いした。得難い折角の機会を積極的に利用して、作品を通して指導を仰ぎ、制作の姿勢や方向について更に視野を広げ飛躍していただきたいものである。

特選（県教育長賞）	田村 純子（陶）「遊遊Ⅱ」
〃	綾野 昌子（染）「花想」
準特選	四十宮年代（染）「夜の街」
〃	小栗加代子（パッチワーク）「真夏の夜の夢」
〃	吉田 敏明（陶）「霜割」
奨励賞	井後 宏（金工）「浸蝕」
〃	仁田 和子（パッチワーク）「春の潮」
〃	杉本 真弓（陶）「内なる外」

◎第11回放美展（5月2日～6日 県郷土文化会館）

第11回放美展美術工芸部門の応募点数は137点、応募者は92名で前回は上回る盛況となった。今回は陶器が6割を占めたが、全てのジャンルに出品が見られ、領域の広がりや作品の多様性が目立った。審査は賞候補13点の中から放美賞（1点）、優秀賞（5点）が選ばれ、入選は95点となった。

展示は無審査出品8点を加え、総展示数は109点で県展を凌ぐ規模となった。

放美賞・四十宮年代「華しぶき」はローケツ染訪問着で緑を基調とした柔らかな色調の変化が見事である。構成も波文のリズミカルな躍動感で奥行きを感じさせ、主題を大胆に表現している。完成度の高い作品である。

優秀賞・寒川治雄「エジプト幻想」は陶器で、口の部分を大胆に切ったフォルム、白と黒の線による端正な構成と地肌のコントラストで見事に旅情を表現した秀作である。美浪文「雲の山」（染）は淡い色調と大らかな曲線で主題に迫っている。夢のある若々しさを感じさせる将来が楽しみな作品である。相原一恵「春海」（パッチワーク）は幾何学的な文様をシンプルな色調と調和させたさわやかな作品である。田村純子「遊Ⅱ」は波を打ったようなユニークなフォルムにシャープな文様を配した斬新な陶器、表現の可能性を追求していく姿勢に敬意を表する作品である。宇山裕子「海空間」は大胆な構図で深い海を思わせる力強い作品である。パッチワークによる主題表現の方向性を示す秀作である。（審査員：七条猪三郎、森明治、犬伏絢）

今回は2点の出品者が増え、全体的に新たな試みへの挑戦の跡が伺える作品が多かったようである。主題に迫る個性的な表現の工夫が見る者に強い印象を与える展覧会になったことは、今後の発展にとっても誠に喜ばしいことである。

放美賞	四十宮年代（染）「ローケツ染訪問着 華しぶき」
優秀賞	寒川 治雄（陶）「エジプト幻想」
〃	美浪 文（染）「雲の山」
〃	相原 一恵（パッチワーク）「春海」
〃	田村 純子（陶）「遊Ⅱ」
〃	宇山 裕子（パッチワーク）「海空間」

会員消息

(県展・放美展関係を除く)

- | | | | |
|--------|--------------------------------|-----|----------------|
| 犬伏 絢 | 。第57回新匠工芸会京都展 | 11月 | 京都市美術館 |
| 越 由子 | 。USAワールドキルト コンペティション2002.6 | 8月～ | 米国ミシガン州ランシング市他 |
| 多智花佐代子 | 。第41回日本現代工芸美術展 | 3月 | 東京都立美術館 |
| | 。第11回現代工芸ゆめいろ展 | 4月 | 高松・三越美術画廊 |
| | 。第3回徳島の工芸5人展 | 11月 | 阿波銀プラザ |
| 九十九健二 | 。第一美術展 | 5月 | 東京都立美術館 |
| 富田ちえ子 | 。染色すなご会展 | 9月 | 香川牟礼町石の民俗資料館 |
| 新居 猛 | 。椅子デザイン講義 | 1月 | 大阪市立デザイン教育研究所 |
| | 。台湾製ニーチェア指導 | 6月 | 台中 |
| | 。「ジャパニーズチェア」8月増刊 | 8月 | コンフォルト誌 |
| | 。「ROOM+チェア2002」 | 8月 | 白夜書房 |
| | 。台湾製ニーチェア展示会 | 9月 | 北青山ベルコモンズ |
| | 。「1脚の椅子・その背景」 | 10月 | 建築資料研究社 |
| | 。「近代椅子学事始」 | 11月 | ワールドフォトプレス |
| | 。徳島県海外市場調査 | 11月 | ホーチミン・バンコク |
| | 。「今月のこの逸品」 | 12月 | Memo誌 |
| 西 浩子 | 。第90回徳島県女流美術家協会展 | 2月 | 阿波銀プラザ |
| | 。第31回徳島・仙台文化交流美術展 | 5月 | せんだいメディアテーク |
| 平井 恵子 | 。第41回日本現代工芸美術展 | 3月 | 東京都立美術館 |
| | 。大津市美術展 | 7月 | 大津市歴史博物館 |
| | 。第34回滋賀県工芸美術協会展 | 10月 | 滋賀県立近代美術館 |
| 森 賢一 | 。第41回日本現代工芸美術展 | 3月 | 東京都立美術館 |
| | 。第3回徳島の工芸5人展 | 11月 | 阿波銀プラザ |
| | 。第40回現代工芸美術家協会四国会展
(四国会奨励賞) | 12月 | 高松・三越 |
| 山本 和子 | 。第3回全国阿波藍染織作家協会展 | 1月 | 京都文化博物館 |
| | 。第8回創手人染展 | 3月 | 広島・三原リージョンプラザ |
| | 。第11回現代工芸ゆめいろ展 | 4月 | 高松・三越美術画廊 |
| 四十宮年代 | 。2002年きもの絵師とその仲間達 | 1月 | 池田市ギャラリーVEGA |
| | 。第30回徳島市芸術祭美術展 | 3月 | 県郷土文化会館 |
| | 。第37回中部染色作家展(会友賞) | 7月 | 名古屋市博物館ギャラリー |
| | 。第2回創る彩りロビー展 | 10月 | 徳島市安宅郵便局 |
| | 。第45回日本工芸会四国支部展 | 11月 | 高松・三越 |

田村 祐子	◦ 第12回工芸美術日工会展	6月	京都・高島屋
	◦ 第34回日展	11月	東京都立美術館
矢野 款一	◦ 日本工芸会正会員展	5月	東京・日本橋三越
	◦ 陶二人展	9月	徳島市シビックセンター
	◦ 第45回日本工芸会四国支部展	11月	高松・三越
影谷美代子	◦ 徳島平和美術展	7月	県郷土文化会館
	◦ 小松島市芸術祭染色展	11月	小松島港交流センター KOCOLO
斎藤 和彦	◦ 日加現代七宝合同展	6月	カナダ・トロント・ミシサガ リビングアートセンター
	◦ 日本七宝作家協会国際展	7月	東京・上野の森美術館
小栗加代子	◦ 和のキルト100人展	1月	東京・銀座三越
	◦ 徳島新聞カルチャーフェスティバル	2月	県郷土文化会館
	◦ 第41回日本現代工芸美術展	3月	東京都立美術館
	◦ MANDALA 21th発表	4月	横浜アリーナ
	◦ 手工芸家協会創立30周年記念バリ島展	6月	バリ島・クラブメット
	◦ もめんの詩20回記念秀作キルト展	10月	県立近代美術館ギャラリー
	◦ 第20回もめんの詩パッチワークキルト展	10月	県郷土文化会館
	◦ インターナショナルキルトウィーク横浜2002	11月	横浜国際展示場
堺 都美子	◦ 藍美展	11月	藍住町福祉センター
武田 美子	◦ 第14回和展	6月	東京・上野の森美術館
橘 恵	◦ 第3回徳島の工芸5人展	11月	阿波銀プラザ
松下 雄介	◦ 日・韓・米現代陶芸交流展	1月	フロリダ森上美術館
	◦ 第45回日本工芸会四国支部展	11月	高松・三越
	◦ 第3回徳島の工芸5人展	11月	阿波銀プラザ
丸居 哲雄	◦ エナジー2002	10月	県立近代美術館
	◦ 美術愛好会作品展	11月	上板町・技の館
	◦ 上板町民文化祭	11月	上板町・技の館
永山昭一郎	◦ 徳島陶芸会第26回創作陶芸展	6月	徳島市シビックセンター
	◦ 第8回正倫会陶芸展	10月	ヨンデンプラザ徳島
田村 純子	◦ 第24回日本新工芸展（奨励賞）	5月	東京・上野の森美術館
	◦ 第34回日展	11月	東京都立美術館

書 道 部

部会長 上 田 溪 水

年間展望

◎第57回県美術展（第2期 11月19日～24日 県郷土文化会館）

出品点数は881点（前年比17点増）、出品人数は621名（前年比18名増）であり、入賞・入選は計354点（入選率40%）となった。これは今年始めて篆刻が参加した影響である。1点出品者が19名増の361点で、2点出品者が1名減の260名である。展示総数は特別出品・招待・無鑑査・賛助出品を加えた402点で全期間展示された。

◎第11回放美展（5月2日～6日 県郷土文化会館）

出品点数は191点（前回は57点増）で出品者数は181名（前年比51名増）となり、入賞・入選は109点で入選率は57%と厳選になった。展示総数は役員・無鑑査を加えて122点である。出品数の増加は喜ばしい傾向で、さらに質の高い作品が期待される。

◎念願の県立文学書道館が昨年10月に開館し記念行事が行われているが、期待が大きいだけに今後の運営が注目される。本年4月には書道部の選抜展を特別展示室とギャラリーで開くことになっている。

◎社中展・個展等

・第7回六書展	ヨンデンプラザ徳島	1月8日～	10日
・第22回書研社展	徳島市シビックセンター	2月22日～	24日
・第10回三美書展	池田ヨンデンプラザ	3月29日～	31日
・第15回記念長玄書道展	県郷土文化会館	3月29日～	31日
・第9回大耽会書作展	県郷土文化会館	4月19日～	21日
・第11回荒井天鶴書展	県郷土文化会館	4月25日～	28日
・第3回玲光会書展	阿南文化会館	5月17日～	19日
・第47回成蹊書道会展	県郷土文化会館	5月24日～	26日
・第17回徳島県書道展	県郷土文化会館	6月1日～	9日
・第20回双愛書展	徳島市シビックセンター	6月14日～	16日
・田中双鶴遺作展	県郷土文化会館	6月21日～	23日
・第17回正鋒会書展	徳島市シビックセンター	7月27日～	29日
・第7回尚真展	阿波銀プラザ	8月16日～	18日
・第37回清潮会書展	県郷土文化会館	8月30日～9月1日	
・第32回直心会書展	県郷土文化会館	9月6日～	8日

◦ 第29回双暢会書展	県郷土文化会館	9月6日～	8日
◦ 第25回泉心書作展			
(藤若美風ミニ書作展併催)	県郷土文化会館	9月13日～	15日
◦ 第31回雪心会書作展	県郷土文化会館	9月14日～	16日
◦ 第65回記念書芸院展	県郷土文化会館	9月19日～	22日
◦ '02年日中国交回復			
30周年記念東南光書作展	中国歴史博物館	10月11日～	19日
◦ 第14回睦月書展	徳島市シビックセンター	10月5日～	7日
◦ 親子書作展(竹内虹舟・井上虹雨)	ヨンデンプラザ徳島	11月15日～	17日
◦ 第6回せせらぎ会書展	徳島市シビックセンター	12月7日～	9日
◦ 第32回光輪社書展	県郷土文化会館	12月21日～	23日

個人消息 (県展・放美展・社中展関係は除く)

役員で出品した人・入賞者

- 第43回太玄会書展(東京都美術館 1/11～17)

役員 春藤大耿・鈴木恵理・南 溪石・下村清子・吉田美重子・近藤静苑
中谷史子・中尾勝子・竹田和代・大櫛一峰・富久鳴泉

特別賞 辻 尚子

奨励賞 西 直子・西宇明美

新人賞 木村弘子・小出圭子

推薦 春藤玉秀・山本恵子

特選 馬居汀香・富永竹香

準推薦 金子白雲・高橋武子・篠原純子・泉 鳳玉・片山芳明・中西瑤汀
濱田茜香・米木由美子

- 第56回日本書芸院2月展(大阪市美術館 2/13～17)

常務理事 勝瀬景流

二科審査会員 小松美佳・清水桂月・島田小園・高田青蓮・豊浦春光
長江頌石・能仁華瑤・鳩成青嶂・福家美鷗・藤村柳葉
古川秀蕙・八木藍玉・矢部知子・米澤東籬・宇山泰鳳
上田輝芳・河野真流・長谷美峰・美馬幾美賀・森 光翔
吉田素川

大賞 高田青蓮・能仁華瑤・吉田素川

1科推薦 大塚美代子・工藤孝子・藤川古徑・藤沢碧山

2 科 推 薦 片山芳明・国見紫雲・野口有香

◦第16回産経国際書会代表展（東京・上野の森美術館 2 / 17～21）

讃岐泰泉・藤若美風・松本清香・増田愛子・三浦富美代・武市勝恵

◦東京書作展2002選抜作家展（東京都美術館 2 / 20～26）

近藤静苑・中尾勝子

◦第38回創玄書道展（東京都美術館 3 / 7～12 産業プラザpio）

役員出品 荒井天鶴・荒井彭仙・永松春苑・佐原和清・高岡晃祥・浜 佳香
多田清芳・佐藤宗香・丸岡香貞・長原皋聖・玉城乾香

特 選 吉田和婉

秀 逸 岩本志豪・山崎朱桜・森本成玉・武樋清香・矢野照代・平岡幽琴
大井皋霄・長原皋月・福山皋怜・大西英仙・藤本瑤香

2 科 賞 玉城乾舞・相原初江・稲飯桂子・木内皋蓉・都築百合子・野口晴世
山口皋舞・遠藤禎子

準2科賞 島 幽清・松岡皋玉・森浦皋芭・犬伏靖江・渋谷清子・芦谷后子
川島鋭子・福田皋久・天野瑞石・木内エツ子・里村典子・清水香裕
伊藤嬉香・福島理恵子・横山乾尚・三澤多美子・岡本由起子
石井益美・岩崎麻美

◦第21回日本刻字展（東京都美術館 3 / 7～12）

役 員 横田素林

特 選 大住典石

秀 作 伊月紅園

佳 作 谷本 昭・貝塚剣山・高柳早秀・横田喜苑

◦第30回日本の書展（大阪国際会議場 3 / 25～28）

玉城乾香・東 南光・上田溪水・清水桂月・武市鳴雲・長江頌石・能仁華瑤
松本深翠・吉田素川

◦第56回日本書芸院4月展（大阪市美術館 4 / 9～14）

常 務 理 事 勝瀬景流

一科審査会員 東 南光・上田溪水・隅田英二・西岡五峰・山口華城・東 弥生
薄田玲泉

史 邑 賞 東 南光

特 別 賞 阿部朱雪・海原暁風・藤田喜美・松永翠月・井上虹雨・宮守崇流

特 選 横田茜子・谷 典子・長尾愛香

◦第25回かな書展（東京・日本橋高島屋 5 / 22～27）

讃岐泰泉・藤若美風・松本清香・増田愛子・三浦富美代

- 第38回太玄会役員展（新宿センタービル朝日生命ギャラリー 5/30～6/4）
近藤静苑・中谷史子・中尾勝子・大櫛一峰・竹田和代・富久鳴泉・西宇明美
- 現代の詩歌と書の世界展（東京セントラル美術館 6/4～9）
佐原和清
- 第54回朝陽会展（岡山総合文化センター 6/11～16）
役員出品 勝瀬景流・薄田玲泉・赤川景舟・上田輝芳・倉本景雨・佐川菁流
河野真流・宮守崇流・竹内虹舟・井上虹雨・森 光翔・山本景琴
- 第54回毎日書道展（東京都美術館 7/8～11 愛媛県美術館 8/20～25）
役員出品 荒井天鶴・荒井彭仙・佐藤宗香・佐原和清・多田清芳・玉城乾香
長原皐聖・永松春苑・浜 佳香
秀 作 谷口香葩・平岡幽琴・丸田恵風・吉田和婉
- 第19回産経国際書展（東京・池袋サンシャイン 7/20～28）
役員出品 讃岐泰泉・藤若美風・松本清香・増田愛子・三浦富美代・武市勝恵
藤原育代・湊 紀子
会友賞 武市直子・村口 透
秀 作 松村 一
- 第24回日本書道学院展（東京産業貿易センター 7/23～27）
大 賞 竹内虹舟
準大賞 森 光翔
- 日本の女流展（東京銀座画廊美術館 7/30～8/4）
張 美鶴
- 第19回読売書法展（東京都美術館 8/13～19 高松市美術館 9/10～15）
常任理事 勝瀬景流
理 事 伊丹東龍・西岡五峰
幹 事 東 南光・東 弥生・上田溪水・上田輝芳・宇山泰鳳・河野真流
亀石文苑・倉本景雨・近藤聖邨・清水桂月・春藤大耿・薄田玲泉
隅田英二・高田青蓮・竹内虹舟・長江頌石・新居藍州・能仁華瑤
長谷美峰・坂東準子・福家美鷗・古川秀蕙・宮守崇流・山口華城
吉田素川
読売新聞社賞 薄田玲泉
特 選 赤川景舟・米澤東籬
秀 逸 海原暁風・駒田水洗・馬居汀香
- 第28回創玄現代書展（東京セントラル美術館 10/29～11/3）
永松春苑・野田香洋

◦ 第34回日展（東京都美術館 11／2～24）

依嘱出品 勝瀬景流

入 選 川村春琴・宮守崇流

◦ 第24回東京書作展（サンシャインシティ文化会館 11／26～12／1）

役員出品 春藤大耿・冨永竹香・南 溪石・中尾勝子・近藤静苑・小出圭子
須原理恵・瀬藤豊子・山本恵子・加藤香都子・西谷香峰・廣島白鷺
中野春江

特別賞候補 吉本道子

奨 励 賞 馬居汀香・鈴木恵理・井川幸子・木村弘子

デザイン部

部会長 坂本 三千一

年間展望

・県内のデザイン団体は、全国組織のJAGDA日本グラフィックデザイナー協会徳島地区、当協会デザイン部会（県展）、徳島市文化協会（市展）、徳島デザインドリーム展（木工会館）、徳島レタリングクラブ、等が主に活動している。当部会員も重複して活動しており、JAGDA会員には、毎年8月の阿波踊りポスター展に出品している。吉本實、他に福井章、坂本三千一が会員、第30回市展には、審査員として沢口功、特別出品の吉本實。第14回徳島デザインドリーム展に、齋藤繁次、吉本實、四十宮隆志が出品した。

◎デザイン部会展「コトバとデザイン」（2月20日～24日 県立近代美術館ギャラリー）

近年、携帯電話のメールやインターネットの著しい普及によって話し言葉でなく書きコトバが復権しています。今回の部会展はコトバとビジュアルによる新感覚の、ひと味違ったグラフィックデザインを試みた。部会員14名が25点出品、岩佐雅功の作品「え！！ことば？」は、会場で話題になっていた。この作品展は新聞やテレビに取り上げられ好評であった。

部会展責任者（企画）・齋藤繁次。委員・芦尾、笠井、北島、桑原、坂野、敷島、四十宮。

◎第11回放美展（5月2日～6日 県郷土文化会館）

今回の審査は、浅野昌哉、田中一郎、沢口功。

出品点数91点（昨年100）、出品人数89人（昨年97）。放美賞1・優秀賞4・入選35点計40点、39人。

部会からの入選者はなく残念だが、恐れずどしどし応募して欲しい。無鑑査出品の北島豊嗣、役員出品では運営委員の坂本三千一、坂野美恵子、美協理事の福井章、審査員の3名が出品した。

応募作品は、全般に突出した作品がなく低調な仕上がりであった。中でも、放美賞になった山田あゆみさん「自然と現代社会の調和」は、色彩と構成のシュールなオリジナリティーを評価した。優秀賞の吉本由佳里さん、福本恭子さん、岡本妙子さん、横田実希さんそれぞれオリジナリティー、完成度の面で他の作品より優れていた。（審査評抜粋）

◎平成14年度徳島県地方文化振興事業：第6回徳島県民文化祭協賛事業

平成14年度・徳島県秀作巡回展

・10月16日～21日・日和佐コミュニティホール ・23日～29日・脇町高等学校 ・11

月2日～4日・美馬中学校　・14日～17日・ぽっぽマリン　・19日～25日・不動中学校
に巡回。今年度よりこの巡回展に部会推薦で出品できるようになった。出品者は次の通り「木偶」沢口功、「Message・II」吉本實、「MESSAGE・2001」敷島のり子、「弱虫
・泣き虫Net・work」四十宮隆志。

◎第57回徳島県美術展（1期 11月9日～17日 県郷土文化会館）

今回も東京からグラフィックデザイナーの遠藤享先生をお願いした。

出品数112点（96人）の中から入選39点、特選（特別賞）1点、特選1点、準特選3
点、奨励賞3点、計47点を選んだ。

全般に表現が煩雑で言いたいことが伝わってこない中でも、特選2点は既成にとらわ
れない発想が面白い。徳島新聞社長賞は高校生の安藤千枝さんの「世界の人とおともだ
ち」は、ピンクを基調にした作品で文字がなくてもメッセージがシンプルに表現されて
いる。髪の毛をつかんでいる構図がユニークだ。特選の短大生、佐々木愛さんの
「IMAGE ANIMAL I」も人の顔をモチーフにした作品で強烈な個性が伝わってくる。
色や形のバランスも良い。（審査員評を抜粋）

準特選に「メッセージ。2」福島康仁、「feeling」山住幸子、「seize the days～今
を生きる～」坂東真由美。奨励賞「想」脇本正久、「森羅万象」齋藤志津子、「本当ノ自
分ハ？」堀真由美。無審査の出品者は次の通り。〈特別出品〉坂本三千一、〈招待〉浅
野昌哉、齋藤繁次、坂野美恵子、〈無鑑査〉敷島のり子、〈賛助出品〉福井章。

※県展デザイン部門は毎回100名前後の出品者で推移していますが、高校生が多いこと
は分かっていた。どんな層がどの程度出品しているか、57回展の出品申込書をもとに
調べた。高校生では、徳島商業高校18、名西高校10、徳島工業高校2、城東高校1、
で徳島市内の高校で郡部から出品されていない。短大では四国大学短期大学部16。専
門学校・穴吹カレッジが14、いつ頃から出品されていたのかは承知していなかった。
我々の怠慢であったが喜ばしいことである。四国大学10（研究生も含む）、鳴門教育
大学2、徳島大学1（大学院生）であった。全体の77%が学生が占めていることがわ
かった。一般は22で郡市別は、徳島市12、小松島市2、鳴門市・阿南市各1、板野郡
3、麻植郡2、那賀郡1、で市内が圧倒的に多い。平均年齢は33歳程度。

・一般＝23%　・高校生＝32%　・短大生・専門学校生・大学・大学院生、他・45%。
この調査では生年月日を記入していない女性や、性別不明・記入もれの人が4人いた。
その他のデータは次頁の通り。

平成14年・57回県展（デザイン部門）出品申込書による調査

57回県展・出品者内訳			
	男	女	計
一 般	8	14	22
四 国 短 大	2	14	16
四 国 大	・	10	10
鳴門教育大学院	1	1	2
徳島大学院	・	1	1
穴吹カレッジ	5	9	14
徳島商業高校	・	18	18
名西高校	1	9	10
徳島工業高校	1	1	2
城東高校	・	1	1
計	18	78	96

＜出品者 96名＞
 一般（会員4名含む） 22名
 大学生、大学院生 13名
 短大、専門学校生 30名 >43名
 高校生 31名

■出品点数 112点
 2点出品 7名
 3点 " 3名
 4点 " 1名

■一般（22人）
 （男）22～45歳（平均）34.25歳
 （女）20～52歳（平均）32.73歳

■高校生（31人）
 （男）1年生 2年生 3年生
 0人 2人 0人
 （女）1年生 2年生 3年生
 8人 10人 11人

■専門学校・穴吹カレッジ（14人）2年生

■短大生（16人）2年生

■徳島商業高 1年（8人）、2年（6人）
 3年（4人）

■名西高 …………… 2年（5人）
 3年（5人）

会員消息 （放美展・県展関係は除く。順不同）

■坂本三千一

- 1月 日本野鳥の会徳島支部会報「野鳥徳島」
 2002.1～12月表紙絵担当 徳島県支部
- 2月 デザイン部会展「コトバとデザイン」展出品 県立近代美術館
- 5月 日本野鳥の会徳島支部、2001会報・全国会員誌
 「野鳥」坂本三千一プリント展：那賀川町・出島野鳥園 徳島県支部
- 10月 第28回全国育樹祭シンボルマーク・ポスター原画審査委員会
 ：平成13年～14年委員委嘱 徳島県農林水産部林業振興課
- 12月 平成15年・徳島県経済5団体「年賀祝賀会」会員名簿
 表紙デザイン作成 経済同友会
- 12月 第31回歳末チャリティー作品色紙即売展出品：徳島そごう 徳島新聞社社会文化事業団
- ☆平成13年8月 第16回全国健康福祉祭徳島大会《ねりんピック徳島2003》・総

務企画委員会委員を徳島県実行委員会より委嘱

徳島県保健福祉部長寿こども政策局長寿社会課ねんりんピック推進室

■福井 章

- 4月 徳島新聞広告企画「イラストぶらり旅」絵と文
毎月1回制作
- 9月 第57回県展ポスター、図録表紙、チケットデザイン制作
- 10月～12月 徳島新聞新年広告企画
「とくしま花紀行」スケッチと文43点制作
- 12月 第31回歳末チャリティー作品色紙即売展出品
：徳島そごう 徳島新聞社社会文化事業団

■浅野 昌哉

- 3月 「アートエキスポ・ジャックパブ」企画
グラフィック講師として作品出品 県立近代美術館

■斎藤 繁次

- 2月 「おめん」展出品 ドクターエンドー徳島店
- 2月 デザイン部会展「コトバとデザイン」展出品 県立近代美術館
- 10月 「森羅万象展」出品 県立近代美術館
- 10月 第14回徳島デザインドリーム展出品 徳島市立木工会館
- 11月 藍美展出品 藍住町福祉センター

■澤口 功

- 3月 第30回徳島市芸術祭美術展：審査員出品 県郷土文化会館
- 10月～11月 平成14年度徳島県秀作巡回美術展出品 県内5会場
- 10月 澤口功デザイン展：個展 那賀川町立図書館
- 11月 澤口功デザイン展：個展 四電エネルギープラザ阿南
- 12月 第31回歳末チャリティー作品色紙即売展出品
：徳島そごう 徳島新聞社社会文化事業団

■吉本 實

- 2月 デザイン部会展「コトバとデザイン」展出品 県立近代美術館
- 3月 徳島市芸術祭美術展：特別出品 県郷土文化会館
- 8月 JAGDA阿波踊りポスター展出品 両国橋演舞場
阿波おどり会館
- 10月～11月 平成14年度徳島県秀作巡回美術展出品 県内5会場
- 10月 第14回徳島デザインドリーム展出品 徳島市立木工会館

■坂野美恵子

- 2月 二科会デザイン部グラフィックアート2002展出品 東京銀座アートミュージアム
2月 デザイン部会展「コトバとデザイン」展出品 県立近代美術館
8月 第87回二科展デザイン部門：会員出品 東京都美術館
11月 第1回京都デザインビエンナーレ2002展：奨励賞 京都・日図デザイン博物館

■敷島のり子

- 2月 デザイン部会展「コトバとデザイン」展出品 県立近代美術館
4月 第3回「国際ポスター展inはなはるフェスタ」を企画
10月～11月 平成14年度徳島県秀作巡回美術展出品 県内5会場

■斎藤志津子

- 1月 斎藤志津子イラスト展「life」 トヨタアトラツインギャラリー
2月 デザイン部会展「コトバとデザイン」展出品 県立近代美術館
3月 斎藤志津子イラスト展 トヨタ阿南ギャラリー
6月 「花とおめん」展出品 森珈琲店
10月 「森羅万象展」出品 県立近代美術館
11月 藍美展出品 藍住町福祉センター

■四十宮隆志

- 2月 デザイン部会展「コトバとデザイン」展出品 県立近代美術館
8月 第9回広島国際アニメーションフェスティバル
作家交流&webサイトレポート 広島市アステールプラザ
10月 第14回徳島デザインドリーム展出品 徳島市立木工会館
10月～11月 平成14年度徳島県秀作巡回美術展出品 県内5会場
11月 アニメーション全国総会 臨時東京大会2002
作家交流&webサイトレポート 東京都本郷ふきた旅館
11月 第7回アニメーション神戸
《The 7th. ANIMATION KOBE》
作家交流&webサイトレポート 神戸国際会議場&ポートピアホテル

■田中 一郎

- 11月 第23回ヴォーカルグループ Soleコンサートの
ポスター、チラシ、チケットのデザイン作成
12月 第17回徳島ジュニアコーラス定期演奏会の
チラシ、チケットのデザイン作成

第57回徳島県美術展（県展）公募規定

部門	日本画	洋画	写真	彫刻	美術工芸	書道	デザイン
搬入日	10月13日	10月12日	10月20日	10月13日	10月13日	10月19日	10月13日
搬入先	徳島県郷土文化会館						
審査日	10月13日	10月13日	10月20日	10月13日	10月13日	10月20日	10月13日
審査員	岩本和夫	山本貞	細江英公	原武典	中井貞次	星宮西 弘重野 道小象 蘭山	遠藤享
出品料	協会員 1点目 3,000円		その他の方 4,000円		2点目からはすべて 1,500円		
出品制限・大きさ・仕上げ	<ul style="list-style-type: none"> ・未公開作品に限る ・点数は制限なし ・小・中学校在学者は出品できない ・20号以上額プチふくめタテ、ヨコ1.9m以内、額・枠張り（ガラス・アクリル不可） ・吊り紐 	<ul style="list-style-type: none"> 同左 ・20号以上（水彩は20号以上、版画は10号以上とする） ・額 ・吊り紐 	<ul style="list-style-type: none"> 同左 ・組・単写真とも画面サイズ、半切以上（カラーは印画に限る） ・無鑑査以上は画面サイズ半切以上、単写真に限る ・パネル張り（組写真は1パネル(90×180cm以内)に全作品をレイアウトしたもの又は全作品を固定したもの） 	<ul style="list-style-type: none"> 同左 ・高さ2m×幅1.5m×奥行1.5m重量200kg以内 ・材料は自由、展示可能なものに限る 	<ul style="list-style-type: none"> 同左 ・大きさ制限なし（ただし、平面作品はタテ1.8×ヨコ1.5m以内） ・木・竹・金工・陶磁・漆・染色・織物・人形・ガラス等 ・展示できる用具をつける 	<ul style="list-style-type: none"> 同左 半切又は全紙横$\frac{1}{2}$以上、仕上がり面積が1.47㎡(16平方尺)以内、縦・横自由 巻子本・帖(40×300cm以内) (例) 61cm(2尺)×242cm(8尺)枠張 79cm(2.6尺)×181cm(6尺)枠張 91cm(3尺)×161cm(5.3尺)枠張 121cm(4尺)×121cm(4尺)枠張 半切・全紙$\frac{1}{2}$・聯落まで額装 アクリル入りでもよい 無鑑査以上は半切以内 ・部門は漢字・仮名・近代詩文・前衛とする 	<ul style="list-style-type: none"> 同左 ・B1パネル 横728×縦1,030ミリ 厚さ5～75ミリ程度 重さ5kg以内 ・課題は自由（実在の商品名・会社名等は除く） ・法的規制に触れないこと ・吊り紐
入賞	特別賞 1点 特選 2点 準特選 3点 奨励賞 3点 入選 規定数	特別賞 1点 特選 3点 準特選 5点 奨励賞 5点 入選 規定数	特別賞 1点 特選 4点 準特選 8点 奨励賞 8点 入選 規定数	特別賞 1点 特選 1点 準特選 2点 奨励賞 2点 入選 規定数	特別賞 1点 特選 2点 準特選 3点 奨励賞 3点 入選 規定数	特別賞 1点 特選 8点 準特選 13点 奨励賞 13点 入選 規定数	特別賞 1点 特選 2点 準特選 3点 奨励賞 3点 入選 規定数
（各部門とも特別賞は特選の内数）							
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・落選作品は審査終了後、各部門で決められた日時までに搬出すること。 ・展示作品は一期は11月17日（日）、二期は11月24日（日）の午後5時から午後6時までに搬出すること。 ・所定の期日までに搬出しない場合は主催者において処分する。 						

第 57 回 県 美 術 展

特別・招待・無鑑査・賛助出品者名

☆ 日 本 画

(招 待)	長 尾 弘 子	橋 本 正 弘	中 川 健
	岡 英 彦	土 方 るみ子	西 野 和 男
	土 井 洋 子		
(賛助出品)	森 葛 苑	長 谷 寿	

☆ 洋 画

(特別出品)	佐 野 比呂志	永 山 隆 二	梶 田 務
(招 待)	清 水 亟 慎	楠 瀬 等	立 岩 巖
	露 口 敏 幸	岡 本 征 二	長 尾 弘 久
(賛助出品)	浅 田 二 郎	岡 多美子	柏 木 雅 雄
	河 田 安 市	黒 崎 志 郎	後藤田 仁 一
	松 川 寛	岡 田 守	中 辻 奈美枝

☆ 写 真

(招 待)	増 田 清 次	井 上 光 雄	西 條 征 二
	勝 西 雅 夫	井 藤 梵	武 内 亨
	笹 田 敏 雄	櫛 淵 魏	酒 井 博 司
	三 好 和 義	上 野 照 文	森 賢 一 久
	橋 本 圭 祐	安 長 剛 彦	前 浦 芳 久
	荒 井 賢 治	林 敏 彦	多 田 晴 光
	古 井 謙 吉	中 野 建 吉	井 藤 光
	増 田 壽		
(無 鑑 査)	柳 本 正		

☆ 彫 刻

(特別出品)	河 崎 良 行		
(招 待)	佐 藤 隆	大 津 文 昭	井 下 俊 作
	鎌 田 邦 宏	松 永 勉	蒔 田 寿
(賛助出品)	長 岡 強		

☆ 美術工芸

(特別出品)	山 上	馨							
(招待)	新 居	猛 介	高 橋	勇	多智花	佐代子			
	松 下	雄 介	中 伏	一	森	賢 一			
	橘		犬 川	絢					
(賛助出品)	村 上	正 典	中 川	存					

☆ 書 道

(特別出品)	荒 井 天 鶴	新 居 藍 州	讚 岐 泰 泉
(招待)	上 田 溪 水	長 原 皋 聖	高 原 清 泉
	宮 井 青 雨	成 尾 莊 秀	渡 辺 草 石
	西 井 南 龍	芝 原 醒 鶴	前 川 古 舟
	原 田 霄 月	美 馬 幾 賀	春 藤 大 景
	清 水 桂 子	中 谷 美 好	勝 瀨 藤 井
	中 水 史 虹	岡 間 順 子	近 荒 藤 若
	日 下 溪 翠	山 口 華 勝	藤 佐 島
	竹 田 和 鳴	中 尾 松 春	島 隅 玉
	武 市 久 鳴	永 浜 佳 清	高 岡 城 岡
	富 坂 本 霄	多 能 華 富	
	松 本 清 玲	三 浦 幽	
(無 鑑 査)	高 宇 山		
(賛助出品)	東 南		

☆ デザイン

(特別出品)	坂 本 三千一	齋 藤 繁 次	坂 野 美恵子
(招待)	浅 野 昌 哉		
(無 鑑 査)	敷 島 のり子		
(賛助出品)	福 井 章		

あ と が き

徳島県美術展（県展）も57回をかぞえることとなり、書道部門に篆刻が新しく加わりました。篆刻の関係者からの要望もありましたが、書道界の流れとして受け入れることとなりました。徳島ではまだ作品が多く出品される状況ではありませんが、門戸を開いたことですので、充実発展に関係者のお力添えをいただきたいと思います。

放美展も10回という一区切りが過ぎ、11回展を開催したのですが、多少マンネリ化したという批判もあるかと思いますが、底辺の拡大に貢献していることは事実だと信じています。さらなる発展のために、若い方のご出品をいただきたいと考えます。

年報には各部の会員の活動がわかるようにと、前年度の年報で会員の皆さんからの情報を部会長にお寄せくださるようお願いしましたが、今回も各部会長さんから、各部の動きについての原稿をいただきました。

年報の表紙は各部もちまわりで担当していただいておりますが、今回は彫刻部の河崎良行さんにいただきました。

どうぞ会員の皆さんがご健康で創作活動に励まれますことを祈念いたしております。これからも協会に対する皆さんのご支援・ご協力をお願いいたします。

平成15年3月

県美術家協会事務局

美術年報 2003年

平成15年3月29日 印刷

平成15年3月31日 発行

編集者 清水 博
装幀者 河崎 良行
発行人 佐野 比呂志
印刷所 原田印刷出版株式会社
発行所 徳島県美術家協会
(徳島市名東町1丁目246 清水方)
